

電話での緊急連絡、情報収集

防災行政無線電話応答サービス

防災行政無線の放送内容を電話で聞くことができます。

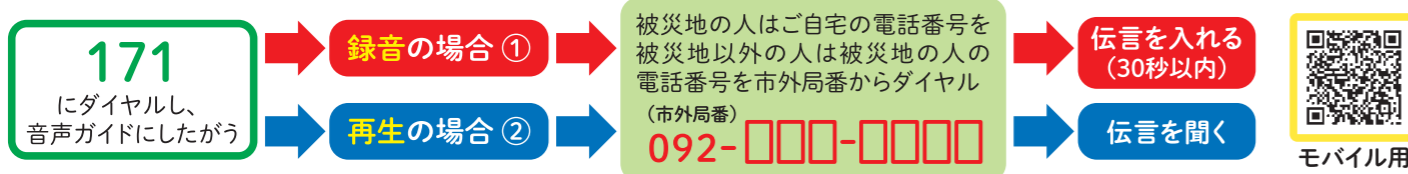
 **050-5533-8194**

(通話料金は利用者負担となります)

緊急連絡先 ※緊急時はつながりにくい場合があります。

- 火事・救急は… **119**
- 警察は… **110**
- 海上での事故・事件は… **118**
- 古賀市役所(災害対策本部) … 092-942-1111
- 粕屋警察署 …………… 092-939-0110
(古賀交番、青柳交番、小野駐在所)
- 粕屋北部消防本部 …………… 092-944-0131

災害用伝言サービス 災害時の家族などへの連絡にご利用ください。



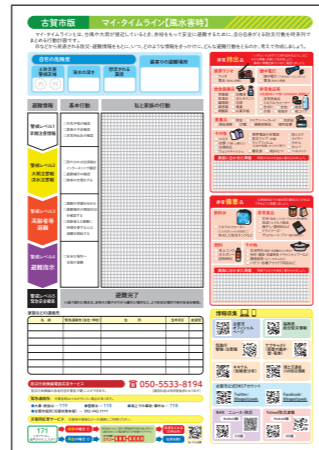
詳しくは、<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

※伝言の保存期間は録音してから2日(48時間)です。保存期間を経過した時点で自動的に消去されます。

このホームページは携帯電話からでもご覧になれます。

総合防災マップの使い方

- ①自宅の位置・自宅周辺の危険な場所等を確認** 各種ハザードマップ(P.27~)
 自宅の位置に印をつけ、自宅やその周辺に自然災害による危険な区域(浸水想定区域、土砂災害警戒区域など)がないか確認しましょう。
 ※海に近い地域、川沿いの地域、山間部など、お住まいの地域によって災害発生のリスクが異なることに十分注意しましょう!
- ②避難先・経路を確認** 避難所一覧(P.11~13) 各種ハザードマップ(P.27~)
 自宅周辺の緊急避難場所・一般避難所に印をつけ、避難所までの安全な避難経路を確認しましょう。
 また、実際に歩いてみて、どのくらい時間がかかるか、注意すべき場所はないか確認しましょう。
- ③災害の特性を確認** 洪水(P.15~16) 土砂災害(P.17~18) 高潮(P.19) 津波(P.20) 地震(P.21~22)
 各種災害の特性や、災害に応じた情報の入手先、災害別の避難のポイントを知り、いざというときの安全な避難行動へつなげましょう。
- ④避難情報を確認** 日頃の備え【防災気象情報】(P.6~8)
 身の安全を守るためには、正確な情報を把握して早め早めの行動を心がけることが重要です。
 市から発令される避難情報の種類や、防災気象情報の入手方法について確認しておきましょう。
- ⑤日頃から災害に備える** 日頃の備え【自助】【共助】(P.1~5)
 災害はいつでもどこで起きてもおかしくありません。災害が起きても落ち着いて避難行動がとれるように、自助・共助の取り組みについて確認しておきましょう。
- ⑥とるべき行動の確認** 避難について(P.9~10)、避難生活の心得(P.14) マイ・タイムライン(別紙)
 災害が迫ってきたときにどのような避難行動をとるべきなのか、避難行動判定フロー(P.9)や避難のポイントについて確認し、家族で話し合っておきましょう。
 また、マイ・タイムラインを使って、風水害時の家族の行動計画を考えましょう。



※マイ・タイムラインとは、これから起こるかもしれない災害に対して、周囲の状況を踏まえて、「誰が」「いつ」「何を」するのかを時系列でまとめる行動計画です。ぜひ活用してください。

完全保存版

2022年(令和4年)3月作成

古賀市

総合防災マップ



もくじ

| | | |
|------------------|--------------|------------------------|
| 日頃の備え【自助】…………… 1 | 洪水…………… 15 | ハザードマップについて…………… 23 |
| 【共助】…………… 3 | 土砂災害…………… 17 | 洪水・土砂災害ハザードマップ…………… 27 |
| 【防災気象情報】…………… 6 | 高潮…………… 19 | 高潮ハザードマップ…………… 59 |
| 避難について…………… 9 | 津波…………… 20 | 津波ハザードマップ…………… 61 |
| 避難所一覧…………… 11 | 地震…………… 21 | 地震ハザードマップ…………… 63 |

日頃の備え 避難について 洪水 土砂災害 高潮 津波 地震 ハザードマップ 洪水・土砂災害 ハザードマップ 高潮 ハザードマップ 津波 ハザードマップ 地震 ハザードマップ

日頃の備え【自助】

家族で防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざという時に、あわてず行動できるよう普段から家族で話し合ひましょう。また、災害に備えて家の中と外をチェックし、危険な箇所は早めに改善するようにしましょう。

家族で話し合いたい項目 **チェック!**

- 家の周りの浸水状況や、土砂災害の危険箇所の確認
- 災害が起こった時の身の守り方
- 家族間の連絡方法と、離ればなれになったときの家族との集合場所
- 災害別の避難行動 避難所とそこへ行く経路
- 家族一人ひとりの役割分担

家族の安否確認、非常持出品・備蓄品の準備・点検、避難経路の確保、隣近所への連絡など



※乳幼児・高齢者・病人・妊婦のいる家庭は移動手段や避難経路などの避難方法も話し合ひましょう。

我が家の安全対策を確認しましょう

安全と思われる家の中や家の周りでも、災害時に避難や救助の妨げになるものや、転倒・落下によるケガなどの被害を引き起こすものがあります。災害に備えて日頃から点検する習慣をつけましょう。

家の中の安全対策

- 家具や窓に飛散防止フィルムを貼るなどガラスの飛散を防止する。
- 家具の転倒、落下防止のため、金具などで固定する。
- 重たい荷物は高い所に置かず、床に置いておく。
- 出入口付近には荷物を置かず避難口を確保する。
- 停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオと予備の電池を準備しておく。
- タコ足配線やコードを束ねて使用しない。
- 住宅用火災警報器、消火器を設置しておく。

家の外の安全対策

- アンテナ、看板などは、針金などを使って補強しておく。
- 瓦の割れ、ずれ、はがれはないか。トタン屋根のめくれ、はがれはないか。
- 窓枠のがたつきはないか。窓ガラスのひび割れはないか。
- 外壁に亀裂はないか。
- 物干し竿、植木鉢、自転車などが風で飛ばされないようにする。
- 電気の引込線のたるみや破損があったら、電力会社に連絡する。
- プロパンガスボンベが固定されているか確認する。
- ブロック塀にぐらつきや亀裂はないか。
- 農業用水路や、排水溝(下水溝)、雨どいのゴミや泥、落ち葉や土砂を取り除き、水はけを良くしておく。
- 雨戸やシャッターが閉まるか確認する。

非常持出品・備蓄品リスト

非常持出品

いざというときに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。事前に準備出来ているか、確認しましょう。

チェック!

携帯ラジオ

- ラジオ
- 電池(多めに用意)

懐中電灯

- 懐中電灯(できれば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)

貴重品

- 現金
- マイナンバーカード
- 免許証
- 預金通帳
- 印鑑
- 健康保険証
- 権利証書

救急医療品

- 常備薬
- 消毒液
- 体温計
- ばんそうこう
- 鎮痛剤
- 風邪薬
- 胃腸薬
- 包帯
- 傷薬
- お薬手帳

非常食品等

火を通さずに食べられるもの、食器など

- 非常食品
- ミネラルウォーター
- 缶切り
- 缶詰
- 紙皿
- 水筒
- 栓抜き
- 紙コップ

その他

- マスク
- 衣類(下着・上着など)
- 生理用品
- ウェットティッシュ
- 携帯電話の充電器
- 防災マップ(本書)
- ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)
- 離乳食
- 紙おむつ
- 粉ミルク
- ライター
- タオル
- カップ
- ヘルメット

非常備蓄品

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるように備蓄しましょう。

チェック!

飲料水

- ミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- 貯水した防災タンクなど

非常食品

- お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

燃料

- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料

その他

- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など



おすすめの非常食

● 乾物・乾麺

長期保存に適しており、切り干し大根や寒天などは不足しがちなミネラルを手軽に補うことができます。



● お菓子

火を使わず手軽に栄養を補給できるうえ、ストレス解消にも効果的です。



● フリーズドライ食品

お湯などで溶かすだけの簡単調理で様々な栄養を補給できます。最近ではバリエーションが豊富です。



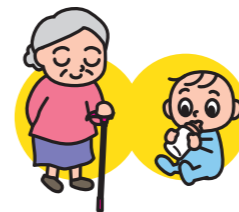
● レトルト食品

長期保存もできて普通の食事にも利用できるのも、ローリングストックでの備蓄に最適です。



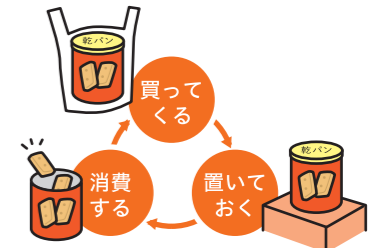
家族構成に合わせた準備

非常持出品・備蓄品は、アレルギー対応の非常食やペットフードなど、家族構成に合わせて必要なものを考えてみましょう。



ローリングストック法

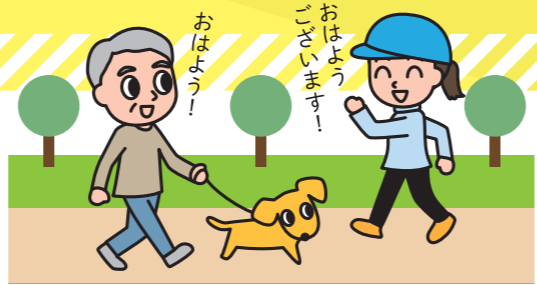
非常持出品・備蓄品などで保管する非常食などを、定期的に消費し、その分をあらためて補充することで、「食べながら備蓄する」ということができます。



日頃の備え【共助】

近所付き合いから始めよう

災害が発生したとき、頼りになるのは地域住民の助け合いである「共助」です。いざというときに備え、みんなで協力しあって地域を守っていくことが大切です。そのためには、ご近所同士で普段からあいさつを交わし合い、顔見知りになることから始めてみましょう。



自主防災組織に参加しよう

自主防災組織とは、地域の皆さんが災害に対して協力し合う組織です。自主防災組織の活動に参加して、災害に強いまちづくりを目指しましょう。

平常時の活動

防災知識の普及・啓発

防災についての正しい知識を身につけるため、防災講習会などを実施します。



防災資機材の整備・点検

災害時の活動に使用する資機材を準備し、日頃から不備や故障などが点検します。

防災訓練の実施

いざというときに正しい行動がとれるように、災害を想定した防災訓練を定期的に行います（初期消火訓練、避難所の開設・運営訓練、避難者の誘導訓練など）。



地域内の点検

地域内の危険箇所や防災上の問題点を点検・整理し、対策しておきます。



地区別防災カルテ

古賀市では、「地区別防災カルテ」を作成しています。「地区別防災カルテ」とは、地域の皆さんに、地域の危険箇所や避難場所等を把握していただき、災害時の行動に役立てていただくための基礎情報を、カルテとして示したものです。市内の行政区ごとに、地区の概況や災害特性、避難場所、避難経路等を整理し、まとめています。「地区別防災カルテ」を活用し、事前準備や災害時の行動について地域で考えておきましょう。



災害時の活動

情報の収集・伝達

災害に関する正しい情報を収集し、住民に伝達します。また、地域の被害状況などを取りまとめて市役所に報告します。

初期消火活動

身の安全を第一に考え、消防署や消防団が到着するまでの間、消火器などを使った初期消火に取り組みます。



避難誘導活動

高齢者や障がいのある人などを避難場所などの安全な場所まで誘導します。



給食・給水活動

水や食料、応急物資などの配給、炊き出しなどの給食・給水活動を行います。



救出・救護活動

身の安全を第一に考え、二次災害に注意しながら、負傷者や逃げ遅れた人などを救出・救助します。

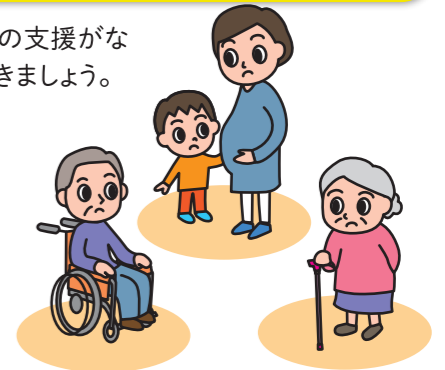
要配慮者を地域で守る

要配慮者とは

「要配慮者」とは、災害が起きたとき、あるいは起きそうなときに、何らかの支援がないと自らの安全を確保できない人たちのことです。地域で協力して支援していきましょう。

想定される主な要配慮者

- 高齢者（一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯 など）
- 介護が必要な人
- 障がいのある人（身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者 など）
- 難病患者、傷病者 ● 乳幼児・妊婦 ● 外国人 など



要配慮者の特性

- ① 災害の危険を察知することが困難である。
- ② 自分の身に危険が差し迫っていても、助けを求めることが困難である。
- ③ 危険を知らせる情報を受け取ることや正しく理解することが困難である。
- ④ 危険を知らせる情報が送られてきても、それに対応して行動することが困難である。

要配慮者が災害時に困ることとその配慮

要配慮者の状態は個人差も大きいため、災害時に「困ること」はさまざまです。支援する側の人は、要配慮者が災害時に抱える問題を理解しておきましょう。

高齢者

- 困ること**
- ・ 体力に自信がなくて自らの力で避難できないことがあります。
 - ・ 認知症などで危険察知や状況判断が困難なことがあります。

- 配慮**
- ・ 明るい声でゆっくりと話しかけ、孤独感や不安感を抱かせないように配慮しましょう。

子どもや乳幼児のいる家庭

- 困ること**
- ・ 子どもや乳幼児を抱えての避難は、持出品などもたくさん持てません。

- 配慮**
- ・ 子どもや乳幼児を抱えた人を見かけたら、声をかけたり付き添ったりしましょう。

外国人

- 困ること**
- ・ 言葉がうまく伝わらないことがあるため、ちょっとしたことで不便を感じるときがあります。

- 配慮**
- ・ 簡単な日本語やジェスチャー、翻訳アプリなどを使って伝えましょう。

障がいのある人(全般)

- 困ること**
- ・ 危険察知や状況判断が困難で、逃げ遅れるおそれがあります。
 - ・ 日常と異なる状況で、パニックになるおそれがあります。

- 配慮**
- ・ 気持ちを落ち着かせ、冷静にわかりやすく状況を説明し、避難誘導を行うようにしましょう。

目が不自由な人

- 困ること**
- ・ 周辺の様子が変わってしまうため、ひとりで移動できません。
 - ・ 被災状況がわからないため、危険の度合いを判断することができません。

- 配慮**
- ・ おどろかせないように声をかけ、状況を説明し、どのような支援が必要か聞いて行動しましょう。

耳が不自由な人

- 困ること**
- ・ 音声での情報には対応できません。
 - ・ 耳が不自由だからといって、必ずしも手話ができるわけではありません。

- 配慮**
- ・ 緊急の情報は、文字、手話などの見える情報で状況を説明し、避難誘導を行うようにしましょう。



避難行動要支援者の避難支援について

避難行動要支援者とは

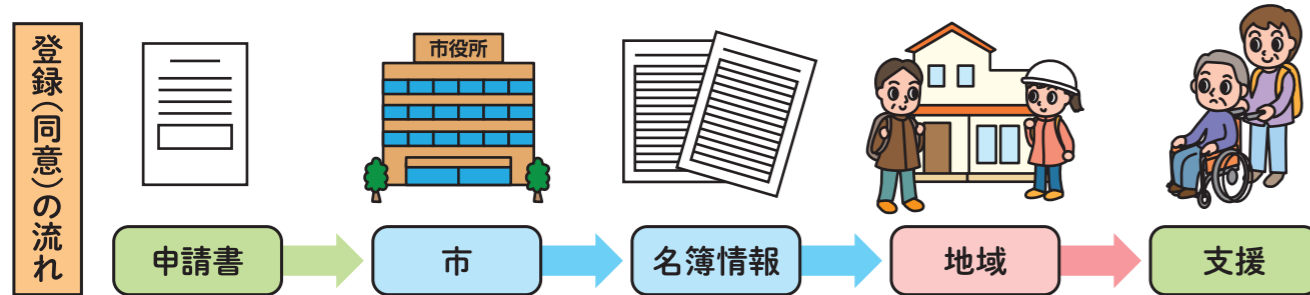
要配慮者のうち、災害時に、支援がなければ自宅から避難できない、家族等による必要な支援が受けられないなど避難に支援を必要とする人を避難行動要支援者といいます。

ただし、家族と同居している、施設に入所、長期に入院している人は除きます。

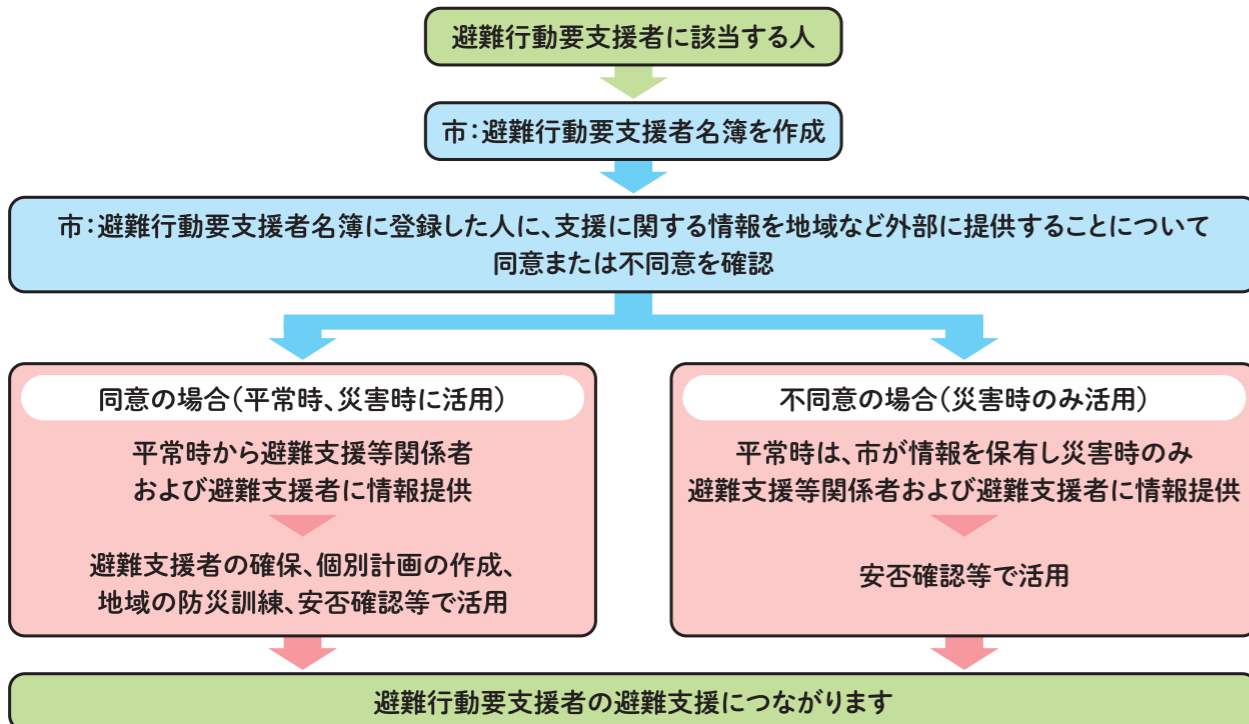
| | | | |
|---------------------------|--|----------------------|-----------------------|
| 要件区分 | A 介護保険法における要介護3～5と認定された人 | 避難行動要支援者として名簿に登録されます | |
| | 身体障がい者 | | |
| | B ●視覚障がい1,2級の人 ●肢体不自由1,2,3級の人 ●聴覚障がい2級の人 ●内部障がい1,2級の人 | | |
| | C 知的障がい者 療育手帳A, Bの人 | | |
| | D 精神障がい者 精神障がい者保健福祉手帳1級の人 | | |
| | E 70歳以上のひとり暮らしの人で、自力避難が困難で名簿登録を希望する人 | | 名簿への登録を希望する場合は申請が必要です |
| | F 75歳以上の高齢者のみ世帯の人で、自力避難が困難で名簿登録を希望する人 | | |
| G その他、災害時において支援が必要と認められる人 | | | |

名簿への登録を希望する場合(上記E、F、Gの人)

E、F の高齢者の要件に該当する人、または G の要件に該当する人（家族と同居しているが一人になる時間帯がある人、施設に入所または入院していたが自宅に戻った人等）は、避難行動要支援者名簿に登録することができます（申請が必要）。



避難行動要支援者を避難支援する流れ



日頃の備え【防災気象情報】

災害の危険が迫ったとき、身の安全を守るためには、正確な情報を把握して、早め早めの行動を心がけることが重要です。

1 正確な情報の入手

●テレビやラジオなどで最新の気象情報を入手しましょう。

2 早めの行動を

●テレビなどの情報以外に、スマートフォンアプリなどで自宅周辺の雨の降り方や浸水の状況にも注意しましょう。
●危険を感じたら、非常持出品を用意して避難の準備を始めるなど、意識して早めの行動をとるようにしましょう。

3 避難の呼びかけに注意

●危険が予想される状況になった場合、市が避難を呼びかけますので、呼びかけがあったら速やかに避難を始めましょう。

4 隣近所で声をかけあい 早めの避難

●避難する際は、隣近所で声をかけあい、お互いに助け合いましょう。

避難を促す情報(5段階の警戒レベル)

土砂災害や洪水等の災害について、情報をより早く、より正確に知り、避難情報に応じた避難行動をとりましょう。

| 警戒レベル | 状況 | 住民がとるべき行動 | 行動を促す情報 |
|-------|---------------|---------------|--------------------|
| 5 | 災害発生 または切迫 | 命の危険 直ちに安全確保! | 緊急安全確保※1 【市が発令】 |

<警戒レベル4までに必ず避難!>

| | | | |
|---|--------------|----------------------|-------------------------|
| 4 | 災害のおそれ高い | 危険な場所から 全員避難 | 避難指示 【市が発令】 |
| 3 | 災害のおそれあり | 危険な場所から 高齢者等は避難※2 | 高齢者等避難 【市が発令】 |
| 2 | 気象状況悪化 | 自らの避難行動を確認 | 大雨・洪水・高潮注意報 【気象庁が発表】 |
| 1 | 今後気象状況悪化のおそれ | 災害への心構えを高める | 早期注意情報 【気象庁が発表】 |

※1 市が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、外出を取りやめるなど普段の行動を見合わせ始め、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

(注) 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

警戒レベル3 や **警戒レベル4** の段階で、地域の皆さんで声をかけあって、確実に安全な場所に避難しましょう。

避難について

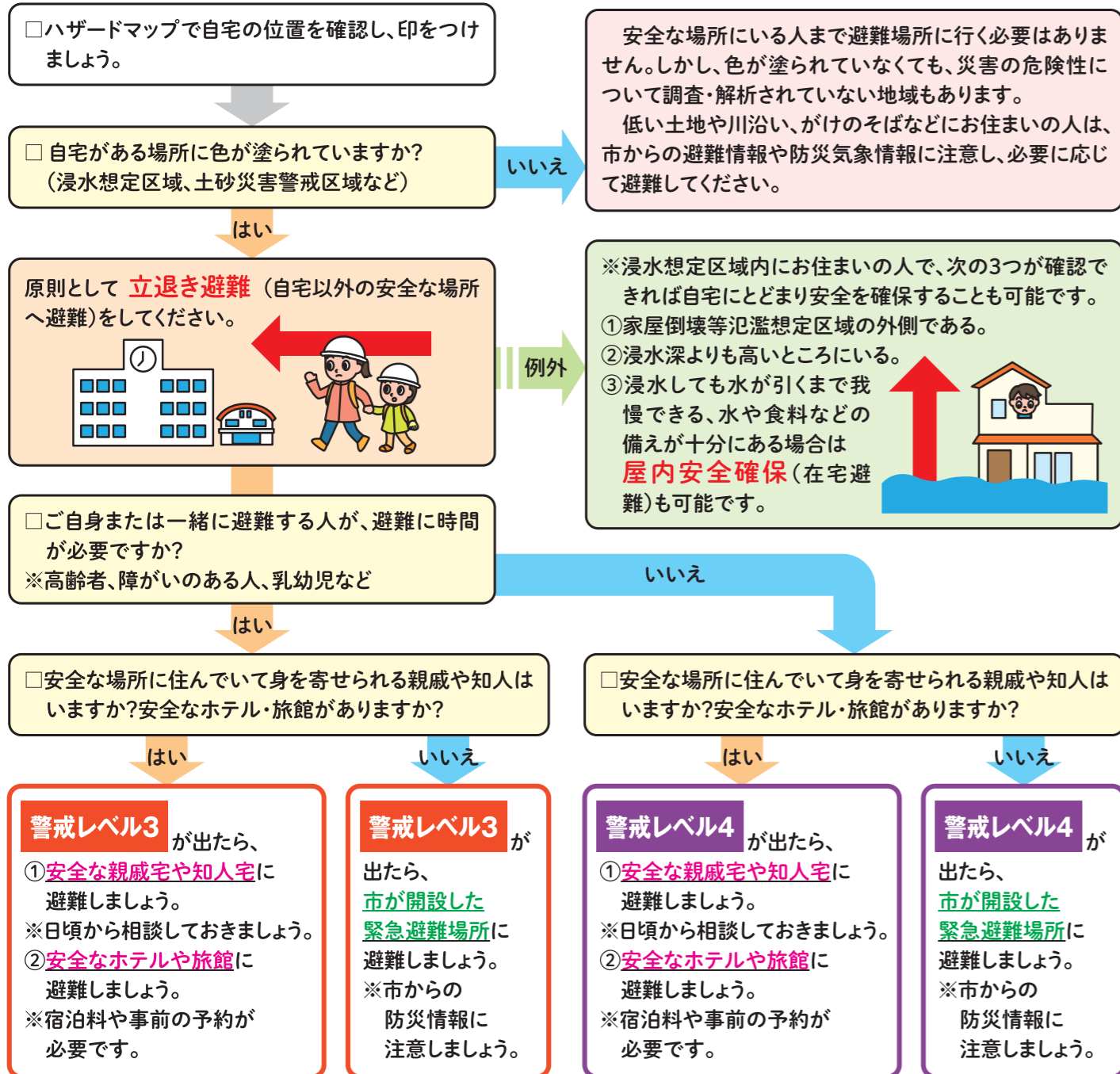
とるべき避難行動を考えておきましょう

災害発生時に人は「自分は大丈夫」といった「正常化の偏見（バイアス）」という心理状態に陥るといわれています。そのような状態にならないよう、次のような点に気をつけておきましょう。

- 「避難しよう」と判断するのはあなた自身です。避難することで助かるのは、「あなたの命」であることを強く認識してください。
- 実際に災害が発生せず、避難したことが「空振り」に終わったとしても、「被害がなくて幸運だった」と前向きに受け止めましょう。
- 過去の災害で大丈夫だったからといって安心できません。過去より悪い方向に状況が進む場合があります。
- 夜間から明け方にかけて大雨や台風の接近が予想される場合は、**明るい時間帯での避難**を呼びかけます。早めの避難行動を心がけてください。

避難行動判定フロー

「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、自宅周辺の災害の危険性やとるべき避難行動を平常時に確認しておきましょう。



避難にかかる時間を考えましょう

避難にかかる時間を計算して、避難行動を開始するタイミングを考えましょう。

500m歩くのにかかる時間(目安)
大人:約6~8分 高齢者:約10分



在宅避難のポイント

- 今後の防災情報に注意しましょう。
身の危険を感じた場合は避難しましょう。
 - ライフラインが停止した場合を想定しておきましょう。
住む場所が安全だったとしても、ライフラインが停止している場合があります。在宅避難をする場合は、数日間（最低7日）備蓄品などを準備しておきましょう。 **備蓄品の項目はP.2をチェック**
- 電気・ガスが止まった! → 電化製品が使えない。明かりがつかない。ガスが使えない。 → 卓上コンロやLEDランプを準備!
- 水道が止まった! → 水道・トイレが使えない。 → 簡易トイレの準備!

避難のポイント

- 速やかに避難しましょう
避難に関する情報が発表されたら、速やかに避難しましょう。避難の際には警察・消防などの指示に従いましょう。
- 災害用伝言板・SNSで連絡する
電話が通じなくなることを想定し、SNSなどの連絡手段を複数用意しましょう。
- 高齢者などには気配りを
近所に高齢者や病気の人がいる場合は、声を掛け合って一緒に避難しましょう。
- 避難する前に
電気のブレーカーを落とし、ガスなどの元栓を閉め、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。
- 車での避難は控えて
車での避難は緊急車両の通行の妨げになり、交通渋滞を招きます。特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。

災害時に特別な配慮を要する人への支援

高齢者や障がいのある人など、災害時において特に配慮を要する人は、地域の皆さんの支援が必要です。

- 高齢者・病气の人
● 背負う（または担架、リアカーなどを利用する）などして安全な場所まで避難する。
● 複数の介助者で対応する。
- 車いすを利用している人
● どのように介助したらいいか、本人に確認する。
● 階段では介助者2人以上が必要。
● 上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 目の不自由な人
● 声をかけ、情報を伝える。
● 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじや肩のあたりを軽く持つてもらい、半歩前をゆっくり歩く。
- 耳の不自由な人
● 筆談、身振り、手話、スマートフォンの画面を見せるなどの方法で正確な情報を伝える。
● 話すときは、口をハッキリと開け、口の形や動きが相手にわかりやすいようにする。

避難所一覧

■ **緊急避難場所** …… 災害から命を守ることを最優先として緊急に災害の危険から逃れるための施設または場所。

● **一般避難所** …… 災害により住宅を失った場合等において、一定期間避難生活をする施設。
(原則、緊急避難場所を兼ねます)

※緊急避難場所、一般避難所は、災害の状況等に応じて下記施設等から開設し、防災メールやホームページ、防災行政無線等でお知らせします。

「避難行動判定フロー」P.9を確認し、緊急避難場所に避難する必要がある人は、「非常持出品」P.2を参考に必要な物資(3日分程度)を持って避難しましょう。避難に支援が必要な人は「避難行動要支援者の避難支援について」P.5を確認しましょう。

緊急避難場所は、命を守るため、一時的に避難する場所です。施設により設備は異なるため、非常持出品を準備しましょう。

| 校区 | 番号 | 避難所名称 (★は市が災害時に 協定している避難施設) | 海拔 (m) | 災害別対応 (○:使用可能、×:使用不可) | | | | | 一般 避難所 |
|-----|----|-----------------------------------|-----------|-----------------------|------|----|----|----|-----------|
| | | | | 洪水 | 土砂災害 | 高潮 | 津波 | 地震 | |
| 古賀東 | 1 | 古賀東小学校 | 21.0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| | 2 | 古賀中学校 | 13.1 | ○ (2階以上) | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 3 | 古賀東中学校 | 37.6 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 4 | 筵内区公民館 | 28.2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 5 | 久保区公民館 | 20.8 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 6 | 久保西区公民館 | 10.7 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 7 | 庄北区公民館 | 10.2 | ○ (2階を使用) | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 8 | 庄南区公民館 | 10.0 | ○ (2階を使用) | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 9 | 古賀団地区公民館 | 7.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 10 | 中央区公民館 | 9.4 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | — |
| | 11 | サンコスモ古賀 | 12.2 | ○ (2階以上) | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 12 | 古賀清掃工場 | 63.5 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | — |
| 古賀西 | 13 | 古賀西小学校 | 2.7 | ○ (2階以上) | ○ | × | ○ | ○ | ● |
| | 14 | 古賀南区公民館 | 7.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 15 | 中川区公民館 | 5.0 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | — |
| | 16 | 鹿部区公民館 | 17.3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 17 | 日吉台区公民館 | 6.7 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 18 | 古賀北区公民館 | 3.5 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | — |
| | 19 | サンリブ古賀★ | 8.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | — |
| | 20 | 正興電機製作所★ | 5.3 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | — |
| 青柳 | 21 | 青柳小学校 | 9.5 | ○ (2階以上) | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| | 22 | 新原区公民館 | 19.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 23 | 今在家区公民館 | 9.2 | × | ○ | ○ | × | × | — |

| 校区 | 番号 | 避難所名称 (★は市が災害時に 協定している避難施設) | 海拔 (m) | 災害別対応 (○:使用可能、×:使用不可) | | | | | 一般 避難所 | |
|----|----|-----------------------------------|-----------|-----------------------|------|----|----|----|-----------|---|
| | | | | 洪水 | 土砂災害 | 高潮 | 津波 | 地震 | | |
| 青柳 | 24 | 青柳区公民館 | 14.7 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | |
| | 25 | 小竹区公民館 | 28.9 | ○ | ○ | ○ | × | × | — | |
| | 26 | 町川原1区公民館 | 14.7 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | |
| | 27 | 町川原2区公民館 | 32.8 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | — | |
| | 28 | ひだまり館 | 20.8 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | |
| | 29 | クロスパルこが★ | 34.2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | |
| | 30 | 福岡県動物愛護センター★ | 32.6 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | |
| | 31 | JA粕屋北部プラザ★ | 18.0 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | — | |
| | 32 | クラブハウス 古賀支店★ | 8.4 | ○ (屋上を使用) | ○ | ○ | ○ | × | — | |
| | 小野 | 33 | 小野小学校 | 50.9 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| 34 | | 谷山区公民館 | 37.8 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | — | |
| 35 | | 小山田区公民館 | 48.9 | ○ | × | ○ | × | × | — | |
| 36 | | 薬王寺区公民館 | 59.5 | ○ | ○ | ○ | × | × | — | |
| 37 | | 上米多比公民館 | 74.7 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | — | |
| 38 | | 下米多比公民館 | 54.9 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | — | |
| 39 | | 薦野区公民館 | 84.9 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | — | |
| 40 | | りびんぐ紀水庵★ | 44.4 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | |
| 41 | | やまびこ幼稚園★ | 66.6 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | |
| 42 | | 小野公園美原園★ | 68.1 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | — | |
| 花鶴 | | 43 | 花鶴小学校 | 10.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| | | 44 | 古賀東区公民館 | 6.7 | × | ○ | ○ | × | ○ | — |
| | 45 | 花鶴丘1丁目区公民館 | 6.0 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | — | |
| | 46 | 花鶴丘2丁目1区集会所 | 6.9 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | — | |
| | 47 | 花鶴丘2丁目2区集会所 | 9.5 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | — | |
| | 48 | 花鶴丘2丁目3区公民館 | 6.6 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | — | |
| | 49 | 花鶴丘3丁目区公民館 | 14.8 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | — | |
| | 50 | あおやぎ古賀会館★ | 8.3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | |
| | 千鳥 | 51 | 千鳥小学校 | 17.5 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| | | 52 | 古賀北中学校 | 21.0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| 53 | | 病院区集会所 | 9.7 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | — | |
| 54 | | 千鳥北区公民館 | 13.3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | |

| 校区 | 番号 | 避難所名称 (★は市が災害時に 協定している避難施設) | 海拔 (m) | 災害別対応 (○:使用可能、×:使用不可) | | | | | 一般 避難所 |
|-----|----|-----------------------------------|-----------|-----------------------|------|----|----|----|-----------|
| | | | | 洪水 | 土砂災害 | 高潮 | 津波 | 地震 | |
| 千鳥 | 55 | 千鳥南区公民館 | 17.3 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | — |
| | 56 | さや団地区集会所 | 13.3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 57 | 高田教育集会所 | 19.8 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | — |
| | 58 | 千鳥タウンコート区集会所 | 12.7 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 59 | 東浜山団地区集会所 | 17.9 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 60 | 千鳥苑 | 18.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 61 | 福岡女学院看護大学★ | 11.0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 62 | 天理教西海大教会★ | 15.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| 舞の里 | 63 | 舞の里小学校 | 28.0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| | 64 | 舞の里1区集会所 | 13.3 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | — |
| | 65 | 舞の里2区集会所 | 17.8 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | — |
| | 66 | 舞の里3区集会所 | 19.8 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | — |
| | 67 | 舞の里4区集会所 | 24.5 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | — |
| | 68 | 舞の里5区集会所 | 32.3 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | — |
| 花見 | 69 | 花見小学校 | 5.7 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| | 70 | 花見南区公民館 | 6.9 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 71 | 花見東1区公民館 | 4.4 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | — |
| | 72 | 花見東2区公民館 | 7.4 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 73 | 北花見区集会所 | 3.0 | ○ | ○ | × | × | × | — |
| | 74 | 暁の星幼稚園 | 9.9 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 75 | 正興電機製作所青和寮★ | 4.8 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | — |

■ 福祉避難所 … 一般の避難所生活が困難な要配慮者（高齢者、障がいのある人など）を受け入れるための施設。

| 校区 | 番号 | 避難所名称 (★は市が災害時に協定している避難施設) | 海拔 (m) | 災害別対応 (○:使用可能、×:使用不可) | | | | |
|-----|----|-------------------------------|-----------|-----------------------|------|----|----|----|
| | | | | 洪水 | 土砂災害 | 高潮 | 津波 | 地震 |
| 古賀東 | 1 | サンコスモ古賀 | 12.2 | ○ (2階を使用) | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 青柳 | 2 | ひだまり館 | 20.8 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 千鳥 | 3 | 福岡県障害者 リハビリテーションセンター★ | 18.6 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 4 | 福岡県立古賀特別支援学校 小・中学部★ | 22.8 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 5 | 福岡県立古賀特別支援学校 高等部★ | 23.0 | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 舞の里 | 6 | 福岡県立玄界高等学校★ | 20.0 | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

避難生活の心得

大規模災害では、ライフラインの停止などにより、避難生活が長期化する可能性があります。自宅が危険な状態になった場合は緊急避難場所・一般避難所等に避難しますが、車の中で寝泊まりしたり（車中泊避難）、被災を免れた自宅で避難生活を送ったり（在宅避難）することもあります。避難生活は不自由で困難なものです。1日も早く災害前の生活を取り戻すために、被災者同士で積極的に助け合しましょう。

避難生活の注意点

共同生活における注意点

- 性別で役割分担を固定したり、一部の人だけに負担が集中したりしないように、できることをみんなで分担・協力合しましょう。
- 居住スペースでの飲酒は控え、喫煙は指定された場所で行いましょう。
- 起床から消灯まで避難所で定められた生活時間を守りましょう。



健康管理における注意点

●メンタルヘルス(心の健康)

避難所生活では、災害で大きな被害を受けたことへのショック、不自由な状況や将来的な生活再建への不安などを和らげるメンタルヘルス対策も重要です。苦しいときは遠慮せず、避難所を訪れる医療や福祉の専門家に相談しましょう。

●感染症対策

- こまめに手洗い・うがいをしましょう。咳やくしゃみが出るときはマスクを着用しましょう。
- 食事前には必ず手洗いをし、食べ物には素手で触らないようにしましょう。
- 生ものは避け、食材はできるだけ加熱調理しましょう。賞味期限にも注意しましょう。



避難所生活における配慮

要配慮者への配慮

誰もが安心して避難生活を送れるよう、多様な人に配慮したスペース作り心がけましょう。

- 乳幼児スペース
- 多目的スペース
- 情報コーナー
- 福祉スペース
- 相談窓口の設置 など

女性や性的少数者(LGBT)への配慮

様々な視点を活かした避難所運営を行いましょう。

●女性担当者の配置

避難所運営組織には女性担当者を配置し、女性の視点を取り入れられる環境づくりを積極的に行いましょう。また、女性が必要とする物資は女性担当者から配布したり、人目を気にせず受け取ることができるような体制をとりましょう。

●男女を問わず利用できるスペースの確保

トイレや更衣室等のスペースには、男女別のスペースだけでなく、男女を問わず利用できるスペースも確保するようレイアウトや利用ルールを検討しましょう。また、各スペースには段ボールやパーテーションを活用し、プライバシーが守られる空間づくりを心がけましょう。

●暴力や犯罪の防止

避難所での暴力や犯罪を防止するため、トイレや更衣室等の専用スペースの設置には、昼夜を問わず安心して使用できる場所や通路を確保しましょう。パトロールの実施や防犯ブザーの配布、暗い場所での照明の設置など、安全・安心の確保に努めましょう。

ペットの管理

避難所ごとにペットの受入れ方や条件が異なります。

ペットを連れて避難する場合は、避難所のルールに従って、飼い主が責任を持ちましょう。

車中泊避難の注意点

車中泊避難は、プライバシーの確保、エアコン完備、カーラジオからの情報入手などといった利点がある一方で、エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒など健康上の危険にも十分注意する必要があります。

- 車上荒らしの危険や、ガソリンが入手しにくい場合がある。
- 排気音や排気ガスが気になり、長時間エアコンをかけられない。
- 避難者として把握されにくく、支援情報などを把握しにくい。



洪水

関連WEBサイト

気象庁 洪水キキクル

検索

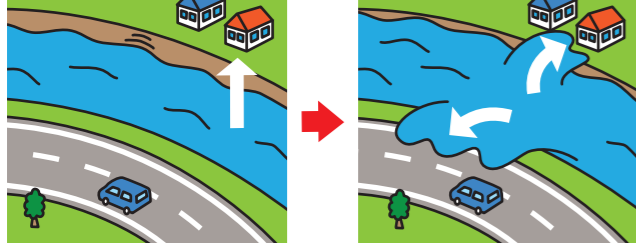
福岡県 総合防災情報

検索

はんらん 氾濫の種類

外水氾濫

川の水が堤防からあふれる、または堤防が決壊して起きる洪水

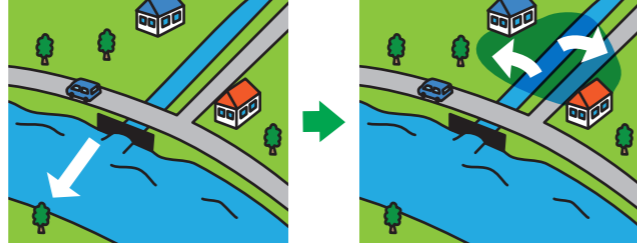


大雨によって川の水が増え、水位が上がり始める。

堤防いっぱいになると、堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊したりして、洪水が発生する。

内水氾濫

川の水位が上昇して排水できなくなり、水路などから水があふれて起きる浸水害



平地に降った雨は、側溝や水路などを通して川に排水される。

側溝や水路の排水能力を超える大雨が降ると、側溝や水路からあふれだし、道路や宅地が浸水する。

※外水氾濫より内水氾濫の方が先に発生する場合があります。また、内水氾濫発生箇所は、側溝のふたが外れたり、水路等が見えなくなり転落のおそれがあるため、通行の際は注意が必要です。

雨の降り方と強さ

| 1時間雨量 | 10~20mm | 20~30mm | 30~50mm | 50~80mm | 80mm以上 | 110mm |
|-----------|---------|---------|------------------|---------|-----------------|---------------------------------|
| 予報用語 | やや強い雨 | 強い雨 | 激しい雨 | 非常に激しい雨 | 猛烈な雨 | 記録的短時間大雨情報 |
| 人の受けるイメージ | ザーザーと降る | どしゃ降り | バケツをひっくり返したように降る | 滝のように降る | 息苦しくなるような圧迫感がある | 数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨(気象台が発表) |

※今いる場所で雨が降っていないなくても、周辺や山間部で大雨が降っていたり、雷鳴が聞こえたりした場合は、急な河川の増水や局地的な大雨が降るおそれがあるため、気象情報をよく確認してください。

局地的大雨に注意

局地的大雨は、発達した積乱雲に伴って発生します。短時間のうちに雲がもくもくと大きくなって周囲が薄暗くなるようなときには、災害が発生する可能性が高まっていることを意識してください。

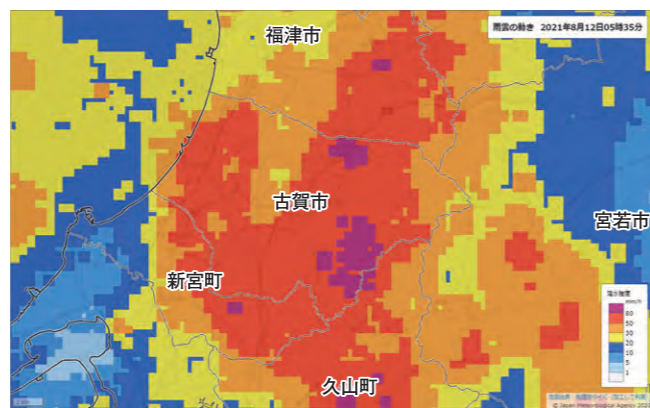
次のような現象を確認して危険を感じたら、すぐに身の安全を確保しましょう。

- 真っ黒い雲が近づき、あたりが急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷の光が見えたりする。
- 急に冷たい風が吹く。
- 大粒の雨やひょうが降り出す。



雨雲の動き(高解像度降水ナウキャスト)

5分ごとに1時間先までの雨の動きを確認できます。



※気象庁ホームページより(一部加工) <https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>



雨雲の動き

河川の基準水位

▼ 堤防を越える

| | | 庄橋(大根川) |
|-----------|----------------------|---------|
| ▼ 氾濫危険水位 | 河川が氾濫するおそれがある水位 | 2.69m |
| ▼ 避難判断水位 | 避難情報発表の目安となる水位 | 2.41m |
| ▼ 氾濫注意水位 | 河川の氾濫の発生を注意する水位 | 1.98m |
| ▼ 水防団待機水位 | 水防団(消防団)が待機する目安となる水位 | 1.64m |

※洪水浸水想定区域内にお住まいの方は特に市からの情報に注意してください。



川の水位情報



福岡県総合防災情報

危機管理型水位計

洪水時の水位観測に特化した水位計で、河川の水位が上昇した時に自動的に作動し水位を観測します。(平常時は1日1回のみ)

※「福岡県河川水位情報」から確認できます。



洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)

中小河川の洪水災害発生の危険度の高まりを、5段階に色分けして示す情報です。

避難にかかる時間等を考慮して、3時間先までの雨量予測値(10分ごとに更新)を用いており、洪水警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



洪水キキクル



※気象庁ホームページより(一部加工)

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood/>

| 色が持つ意味 | 住民等の行動の例 | 目安となる避難情報 | 相当する警戒レベル |
|-----------|--|-----------|-----------|
| 極めて危険 | 重大な洪水災害がすでに発生しているおそれが高い極めて危険な状況。 | — | — |
| 非常に危険 | 河川水位が一定の水位を超えている場合には速やかに避難する。 | 避難指示 | 4相当 |
| 警戒 | 河川水位が一定の水位を超えている場合には避難の準備が整い次第、避難する。高齢者等は速やかに避難する。 | 高齢者等避難 | 3相当 |
| 注意 | ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。 | — | 2相当 |
| 今後の情報等に留意 | 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。 | — | — |

避難のポイント(洪水編)

● 運動靴で移動



長靴は水が入って歩きにくく危険です。裸足やスリッパも禁物です。なるべく運動靴をはきましょう。

● これは危険!



大雨時の田んぼの見回りはやめましょう。
垂れ下がった電線には近づいたり、触ったりしないようにしましょう。

● 移動するときの注意点



足元が見えないことが多いので、よく通っている道でも道路の真ん中を杖でつきながら慎重に歩きましょう。
橋を渡らないようにしましょう。

土砂災害

関連WEBサイト

気象庁 土砂キキクル

検索

福岡県 総合防災情報

検索

土砂災害防止法について

福岡県では、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づき、土砂災害が発生するおそれがある区域として、「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」を指定しています。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

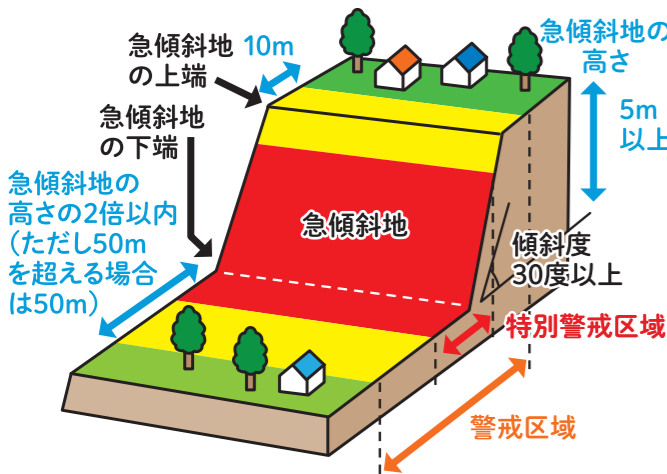
※指定区域の詳細内容については、福岡県ホームページまたは古賀市役所（総務課）でご確認ください。

土砂災害の種類とその前兆現象

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。

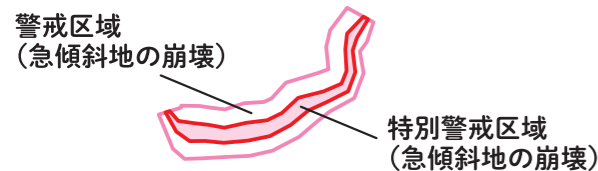
● 区域指定の基準



前兆現象

- がけに割れ目が見える
- がけから水が噴出する
- がけから小石がパラパラ落ちてくる

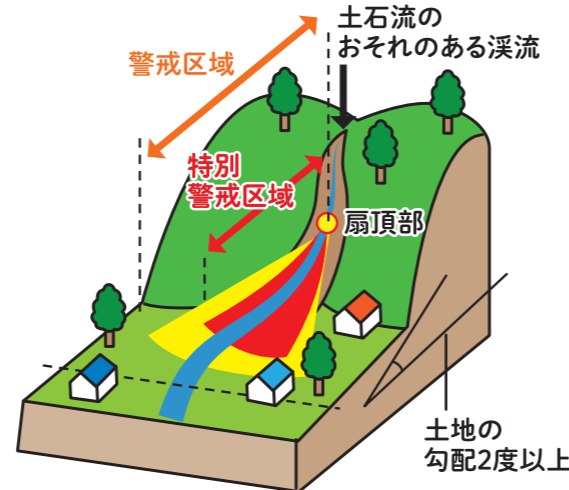
● ハザードマップの表示



土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって、一気に下流へと押し流される現象です。

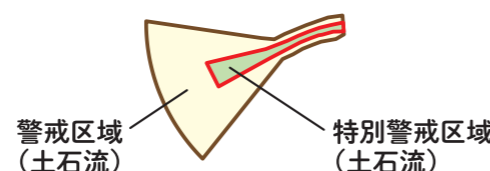
● 区域指定の基準



前兆現象

- 山鳴りがする
- 川の流れが濁り、流木が混ざりはじめる
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる

● ハザードマップの表示



土砂災害警戒情報(警戒レベル4相当)

大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、福岡県と福岡管区気象台が共同で発表します。



福岡管区
気象台



福岡県
総合防災情報

土砂災害警戒情報が発表されたら

- ハザードマップや福岡県総合防災情報で自宅周辺の危険度を確認しましょう。
- 古賀市が発表する避難情報に注意しましょう。
- 周囲の状況や雨の降り方に注意し、危険を感じたらすぐに避難しましょう。

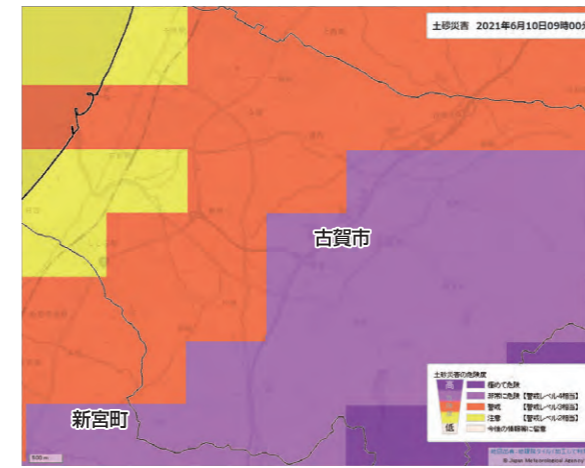
土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)

土砂災害の危険度の高まっている地域を1km四方(メッシュ)の領域ごとに5段階で色分け表示しています。

避難にかかる時間等を考慮して、土壌雨量指数の2時間先までの予測値(10分ごとに更新)を用いており、大雨警報(土砂災害)、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



土砂キキクル



※気象庁ホームページより(一部加工)

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land/>

| 色が持つ意味 | 住民等の行動の例 | 目安となる避難情報 | 相当する警戒レベル |
|-----------|--|-----------|-----------|
| 極めて危険 | 命の危険の及ぶ土砂災害がすでに発生しているもおかしくない極めて危険な状況。この段階の前に避難を完了しておく。 | — | — |
| 非常に危険 | 速やかに土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所へ避難する。 | 避難指示 | 4相当 |
| 警戒 | 避難の準備が整い次第、土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所へ避難する。高齢者等は速やかに避難する。 | 高齢者等避難 | 3相当 |
| 注意 | ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。 | — | 2相当 |
| 今後の情報等に留意 | 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。 | — | — |

避難のポイント(土砂災害編)

● がけ崩れのおそれがある場合

一般的に、がけ崩れの土砂は、地面が平らなところはがけの高さの2倍の距離までくるといわれています。

避難する場合は、がけからできるだけ遠くに逃げてください。



● 土石流のおそれがある場合

渓流沿いの低い土地から離れてください。土石流のスピードはとても速いので、土石流を見たら、流れに直角の方向に逃げましょう。



● 屋外に避難する場合

避難する際は、土砂災害警戒区域等(イエローゾーン・レッドゾーン)をなるべく通らないようにしましょう。ハザードマップで区域を確認してください。

● やむをえず屋外に避難できない場合

屋外に出ることがかえって危険な場合は、2階以上の斜面から離れた部屋で安全を確保してください。

● 雨がやんだ後も注意

これまで降った雨が土の中に残っています。雨がやんでも土砂災害が発生するおそれがあるので警戒しましょう。

高潮

関連WEBサイト

古賀市 気象警報・注意報

検索

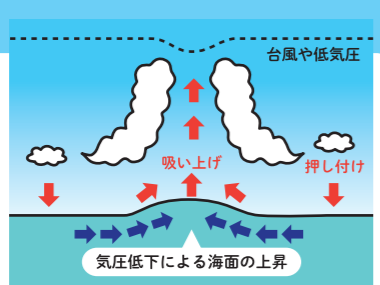
気象庁 台風情報

検索

高潮の起こる仕組み

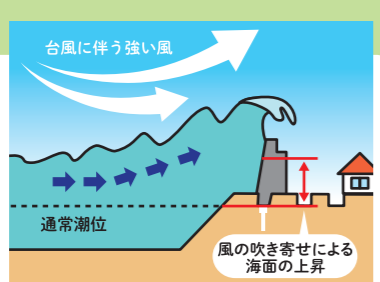
吸い上げ効果

台風や発達した低気圧の中心が接近すると、中心付近の気圧が低下し、海面が吸い上げられて上昇します。



吹き寄せ効果

台風による強い風が沖から海岸に向かって長時間吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。



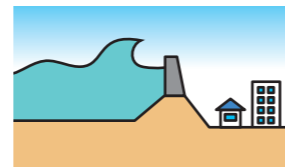
高潮の被害を受けやすい場所

河口のまわり



高潮の被害と河川の氾濫等、危険が重なる。

ゼロメートル地帯



平均海面より低い土地は浸水の危険性が高い。

湾の奥のほう



押し寄せた海水がたまり、湾内の水位が上がる。

急に深くなる海底地形



押し寄せた波が海岸の近くで一気に高くなる。

台風

台風の大きさは、強風域（風速 15m/s 以上の強い風が吹いているか、吹く可能性がある範囲）の半径で表し、台風の強さは、最大風速で区分しています。

台風に関する情報の中では、台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で非常に強い台風」のように呼びます。

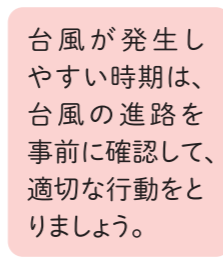
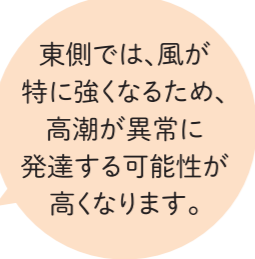
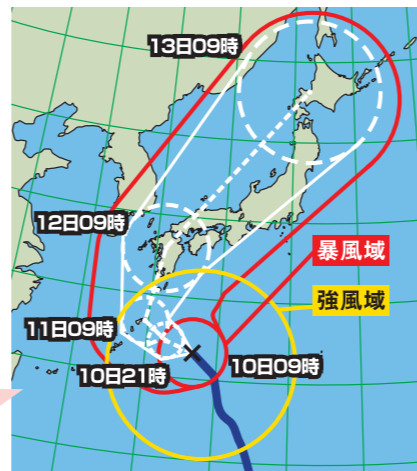
大きさの階級分け

| 階級 | 風速15m/s以上の半径 |
|-------------|----------------|
| 大型(大きい) | 500km以上800km未満 |
| 超大型(非常に大きい) | 800km以上 |

強さの階級分け

| 階級 | 最大風速 |
|-------|----------------|
| 強い | 33m/s以上44m/s未満 |
| 非常に強い | 44m/s以上54m/s未満 |
| 猛烈な | 54m/s以上 |

台風情報の例



避難のポイント(高潮編)

気象情報に注意

台風接近の数日前から気象情報や市からの情報に注意しましょう。



危険を感じたら早めに行動

夜間から明け方にかけて台風の強風域が最接近すると予想される場合は、市から早めの避難を呼びかけます。

海沿いに近づかない

海沿いへ様子を見に行くのはやめましょう。高波のみ込まれるおそれがあります。



津波

関連WEBサイト

古賀市 気象警報・注意報

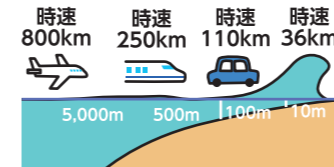
検索

気象庁 津波

検索

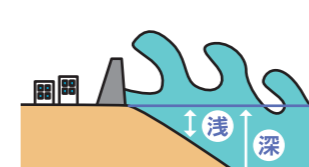
津波の特徴

ジェット機並みの速さ



津波の速さは海が深いほど速く、津波が見えてからでは逃げ切れません。

想像以上の高さ



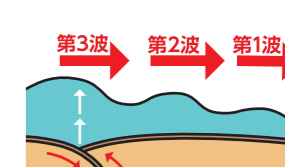
津波の高さは海岸の地形等で変わります。東日本大震災では、想像以上の高さの津波が発生しました。

予兆もなく襲ってくる



必ずしも、津波の前に引き潮(予兆)があるとは限りません。

津波は繰り返す



津波は繰り返すので、警報や注意報が解除されるまで沿岸部に近づかないでください。

津波に関する警報・注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報が気象庁から発表され、その後予想される津波の高さや津波の到着予想時刻などが発表されます。

| | 予想される津波の高さ | | 想定される被害 |
|-------|-----------------|------------|---|
| | 数値での発表(発表基準) | 巨大地震の場合の表現 | |
| 大津波警報 | 10m超 (10m<高さ) | 巨大 | 木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 |
| | 10m (5m<高さ≤10m) | | |
| | 5m (3m<高さ≤5m) | | |
| 津波警報 | 3m (1m<高さ≤3m) | 高い | 標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 |
| 津波注意報 | 1m (20cm≤高さ≤1m) | (表記しない) | 海の中では人は速い流れに巻き込まれます。養殖いかだが出し小型船舶が転覆します。 |

地震発生後、予想される津波の高さが 20cm 未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報(若干の海面変動)」を発表します。

避難のポイント(津波編)

小さな揺れでも油断禁物!

小さな揺れの地震でも、長い時間ゆっくりとした揺れの場合、津波が来襲することがあります。

海岸や川には近づかない!

海岸はもちろん、津波は市街地よりも川を早くさかのぼりますので、できるだけ川に近づかず避難しましょう。

率先避難者になりましょう

率先避難とは「緊急時に周囲に避難を呼びかけつつ、自ら率先して避難すること」を言います。率先避難者になることで、それを見ている周囲の人に避難行動を取らせるきっかけになります。



高い場所へ避難する

海岸から「より遠くへ」ではなく、「より高い」場所や建物へ避難しましょう。

津波避難施設に適した建物

- 昭和57年以降に建てられていること
- 鉄筋コンクリート構造物
- 3階以上であること



海拔表示板を目安に、より高いところを目指してください。

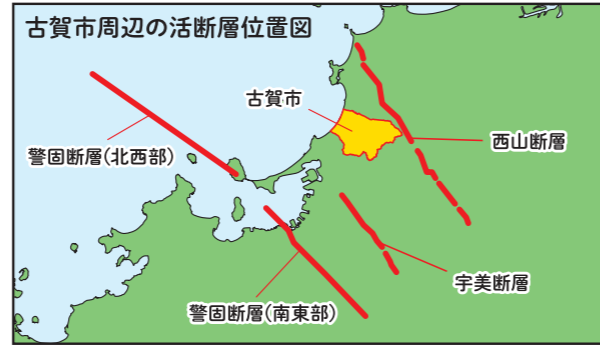
日頃の備え
避難について
洪水
土砂災害
高潮
津波
地震
ハザードマップ
洪水・土砂災害
ハザードマップ
高潮
津波
地震
ハザードマップ

古賀市で想定される地震について

古賀市周辺に存在する活断層の評価

| 活断層名 | 警固断層(北西部) | 警固断層(南東部) | 西山断層 | 宇美断層 |
|---------------------|-----------|-----------|------|------|
| 想定される地震の規模(マグニチュード) | 7.0 | 7.2 | 7.3 | 6.9 |
| 今後30年以内に地震が発生する確率 | 不明 | 0.3~6% | 不明 | 不明 |

(令和3年9月 福岡県地域防災計画 地震・津波対策編より)



マンション特有の注意点

マンションでは、建物の構造や多くの人たちが一緒に生活しているという生活環境の特徴から、戸建て住宅とは異なる防災対策が必要となります。

通路・非常口・非常階段

通路・非常口・非常階段などの共用部分に通行の妨げになるようなものを置かないようにしましょう。

また、一斉に階段を使用すると二次災害になるおそれがあるので、注意して使用しましょう。



ベランダ

ベランダの避難ハッチ(非常脱出口)の使用方法を確認しておきましょう。

また、ハッチをふさぐようなものは置かないようにしましょう。



トイレ・ゴミの問題

配管・配水管が破損すると、トイレを使うことができません。高層階に住む人ほど、不便が大きくなります。

また、災害用の携帯トイレなどを使う際には、ゴミの問題とあわせて悪臭など衛生面の問題が発生します。



トイレが使えない場合の対応策

- 簡易トイレや携帯トイレを使用する(保管場所・ゴミ出しのルールを決めておく)。
- 簡易トイレの代わりとして、ビニール袋や新聞紙、消臭スプレー、重曹なども用意しておく。

地震発生時のタイムライン

地震発生

まずは自分の身を守る

- 机の下に入る。
- 家具やガラス面から離れる。
- クッションや雑誌などで頭を保護する。



緊急地震速報

震源に近い観測点で地震を察知し、直ちに震源や地震の規模(マグニチュード)などを推定し、大きな揺れが始まる数秒前から数十秒前にお知らせするシステムです。情報が出たら、身を守ることを第一に、どのような行動がとれるか、日頃から話し合っておきましょう。



●人が大勢いる施設では
むやみに移動すると混乱をまねくおそれがあるため係員の指示に従い、落ち着いて行動する。

●山やがけ付近では
落石やがけ崩れに注意する。



●路上にいた!
窓ガラスや瓦などの落下物からカバンなどで頭を保護し、空き地や公園などに避難する。

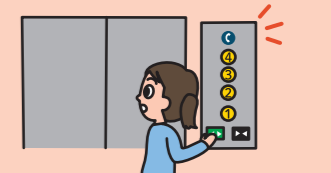
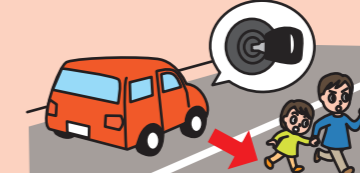
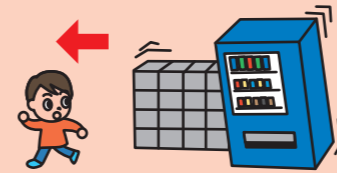
●車を運転していた!
徐々にスピードを落とし、左側に止め、エンジンを切る。揺れがおさまるまで冷静に待つ。

●エレベーターの中にいた!
すべての階のボタンを押し、停止した階で降りる。

注意 ブロック塀、自動販売機には近づかない。倒れそうな電柱、垂れ下がった電線に注意する。

注意 避難するときはキーは付けたまま、ドアロックもしない。貴重品を持ち出し、徒歩で避難する。

注意 閉じ込められても無理に脱出しようとせず、非常ボタンで外部と連絡をとり救出を待つ。



発生から1~2分

揺れがおさまったらまず火の始末

- 脱出口を確保する。
- 火元を確認する。
- 家族の安全を確保する。
- 靴をはく。



発生から3分

隣近所の安全確認

- 隣近所に声をかける。
- 余震に注意する。
- 非常持出品を用意する。
- 火事を見つけたら安全が確保できる範囲で初期消火する。



発生から5分

ラジオなどで正しい情報を入手

- 正しい情報を入手する。
- 家屋倒壊などの危険があれば避難する。
- 電話の使用は緊急連絡を優先する(回線が混雑するおそれ)。



発生から10分

協力して消火・救出・救護活動

- 助け合いの心が大切。
- 水・食料は蓄えているもので。
- 壊れた家には入らない。
- 災害情報・被害情報の収集を行い、デマ情報にまどわされない。



ハザードマップについて



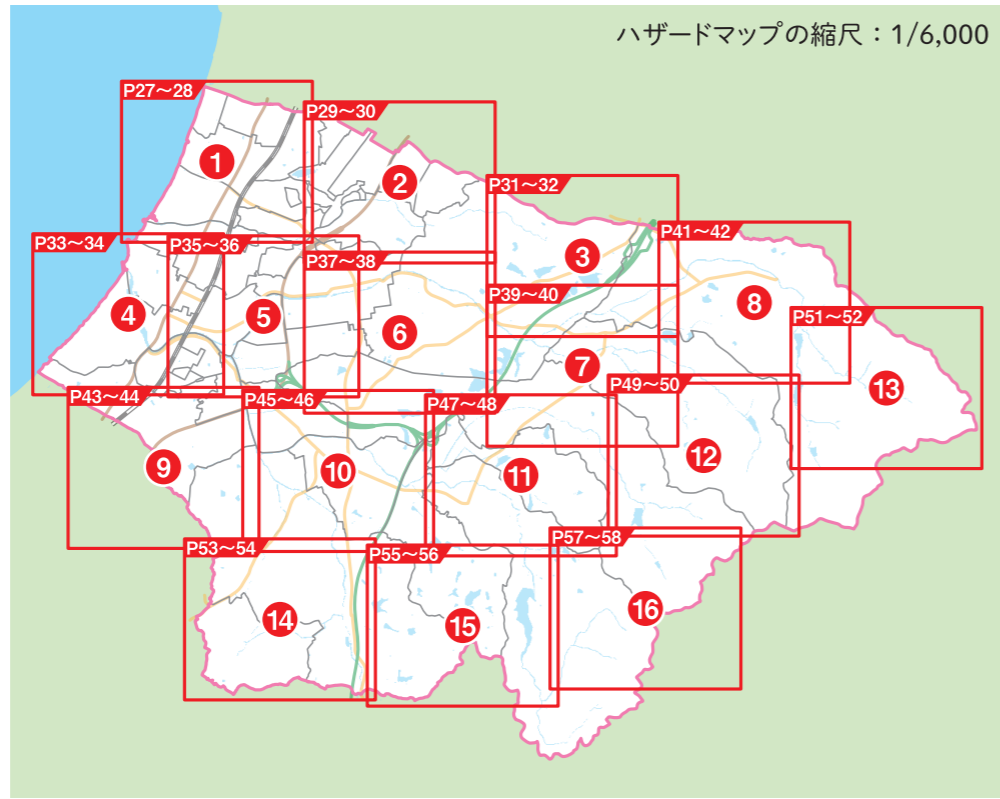
ハザードマップで確認したいポイント

- 自宅等の周辺で指定されている災害危険区域、災害実績箇所など
- 避難場所の位置、自宅から避難場所へ向かう経路、避難経路中の危険箇所
- 災害時に危険と思われる箇所（河川より低い道路、防護柵のない水路など）



洪水・土砂災害ハザードマップ(P.27～58)

| 行政区名 | マップ番号 |
|-------|-----------------|
| 筵内区 | 2 3 6 7 |
| 久保区 | 2 5 6 |
| 久保西区 | 1 2 5 6 |
| 庄北区 | 5 |
| 庄南区 | 5 6 |
| 古賀団地区 | 1 5 |
| 中央区 | 1 4 5 |
| 古賀北区 | 1 4 5 |
| 古賀南区 | 4 5 |
| 中川区 | 1 4 5 |
| 鹿部区 | 4 5 9 10 |
| 日吉台区 | 4 5 9 |
| 新原区 | 5 6 7 10 11 |
| 今在家区 | 5 6 9 10 |
| 青柳区 | 9 10 14 15 |
| 小竹区 | 14 |
| 町川原1区 | 10 11 14 |
| 町川原2区 | 10 11 15 |
| 谷山区 | 10 11 15 16 |
| 小山田区 | 6 7 10 11 12 16 |
| 薬王寺区 | 6 7 11 12 16 |
| 米多比区 | 3 7 8 11 12 13 |
| 薦野区 | 3 7 8 12 13 |



| 行政区名 | マップ番号 |
|----------|----------|
| 古賀東区 | 4 5 |
| 花鶴丘1丁目区 | 4 5 |
| 花鶴丘2丁目1区 | 4 5 |
| 花鶴丘2丁目2区 | 4 5 |
| 花鶴丘2丁目3区 | 4 5 9 |
| 花鶴丘3丁目区 | 4 5 9 10 |

| 行政区名 | マップ番号 |
|-----------|---------|
| 病院区 | 1 2 5 |
| 千鳥北区 | 1 2 |
| 千鳥南区 | 1 2 |
| 千鳥東区 | 1 2 |
| さや団地区 | 2 |
| 高田区 | 1 2 5 6 |
| 千鳥タウンコート区 | 2 |
| 東浜山団地区 | 1 |

| 行政区名 | マップ番号 |
|-------|-------|
| 舞の里1区 | 2 |
| 舞の里2区 | 1 2 |
| 舞の里3区 | 2 |
| 舞の里4区 | 2 |
| 舞の里5区 | 2 |
| 花見南区 | 1 |
| 花見東1区 | 1 |
| 花見東2区 | 1 |
| 北花見区 | 1 |

災害実績箇所

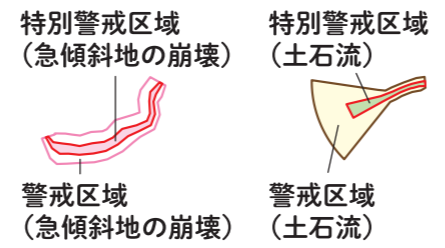
防災ワークショップを通して地域のみなさんから聞き取りした、過去の災害実績箇所を地図上に示しています。

- 浸水実績
- 道路冠水被害
- 水路溢水被害
- 土砂災害被害

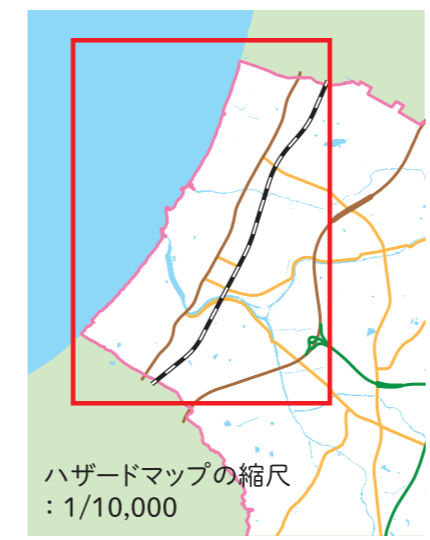
土砂災害警戒区域・特別警戒区域

福岡県が令和4年2月現在で告示している、「急傾斜地の崩壊」「土石流」の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を示しています。

土砂災害警戒区域・特別警戒区域については、17ページをご覧ください。



高潮ハザードマップ(P.59～60)・津波ハザードマップ(P.61～62)



高潮浸水想定区域(高潮ハザードマップ掲載)

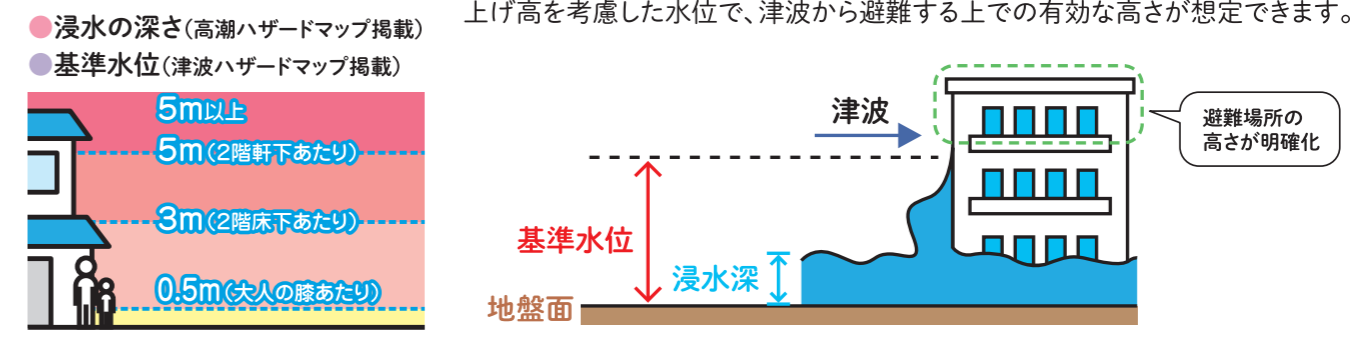
福岡県が平成30年3月に作成した、想定最大規模の台風に伴う高潮が発生したときの高潮浸水想定区域を地図上に示しています。

高潮浸水想定区域の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、台風の強さと経路を複数設定してシミュレーションを行い、各地点で一番浸水の深いものを示しています。

津波災害警戒区域(津波ハザードマップ掲載)

津波災害警戒区域は、福岡県が平成30年3月に作成した、最大クラスの津波が発生した場合に、津波の警戒避難体制を特に整備すべき区域として、「基準水位」を地図上に示しています。津波災害警戒区域は、福岡県が平成28年2月に作成した津波浸水想定区域に基づいて作成しています。

基準水位は、津波浸水想定区域の浸水深に、建物等への衝突によるせき上げ高を考慮した水位で、津波から避難する上での有効な高さが想定できます。



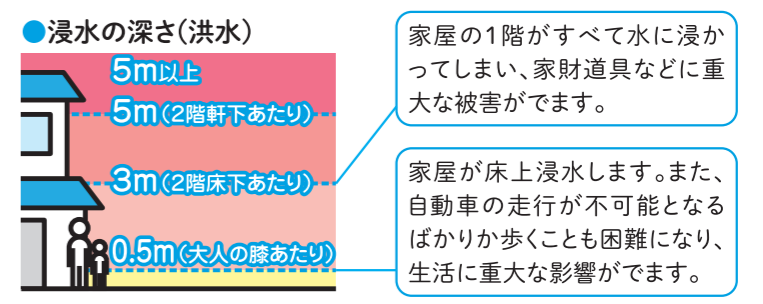
地震ハザードマップ(揺れやすさマップ・危険度マップ)(P.63～66)

古賀市が平成25年3月に作成した、4種類の地震のケースによってシミュレーションした最大震度の分布状況と、建物が倒壊する可能性を地図上に示しています。

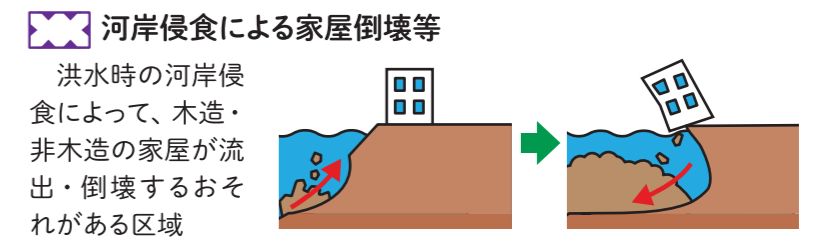
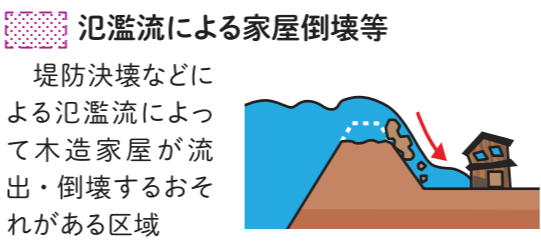
洪水浸水想定区域、氾濫推定範囲

福岡県が作成した、想定最大規模の大雨に伴う洪水によって河川が氾濫した場合の浸水範囲と浸水深を地図上に示しています。

| 対象河川 | 洪水浸水想定区域 | 氾濫推定範囲 |
|---------|--------------------|-------------------|
| | 大根川 | 谷山川、青柳川、薬王寺川、米多比川 |
| 前提となる降雨 | 大根川流域の6時間の総雨量584mm | |
| 作成年月 | 令和元年5月 | 令和3年5月 |



家屋倒壊等氾濫想定区域(想定最大規模の洪水浸水想定区域をもとに検討)



日頃の備え
避難について
洪水
土砂災害
高潮
津波
地震
ハザードマップについて
洪水・土砂災害ハザードマップ
高潮
津波
地震

その他のハザードマップについては、市ホームページなどで確認できます。

ため池ハザードマップ

防災重点ため池が、満水時に自然災害等によって決壊した場合に、浸水の深さを示す浸水想定区域図を基に避難経路・避難所等を示したものです。なお、現在作成中です。詳細は市ホームページでご確認ください。

※防災重点ため池…浸水想定区域内に家屋や公共施設が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池

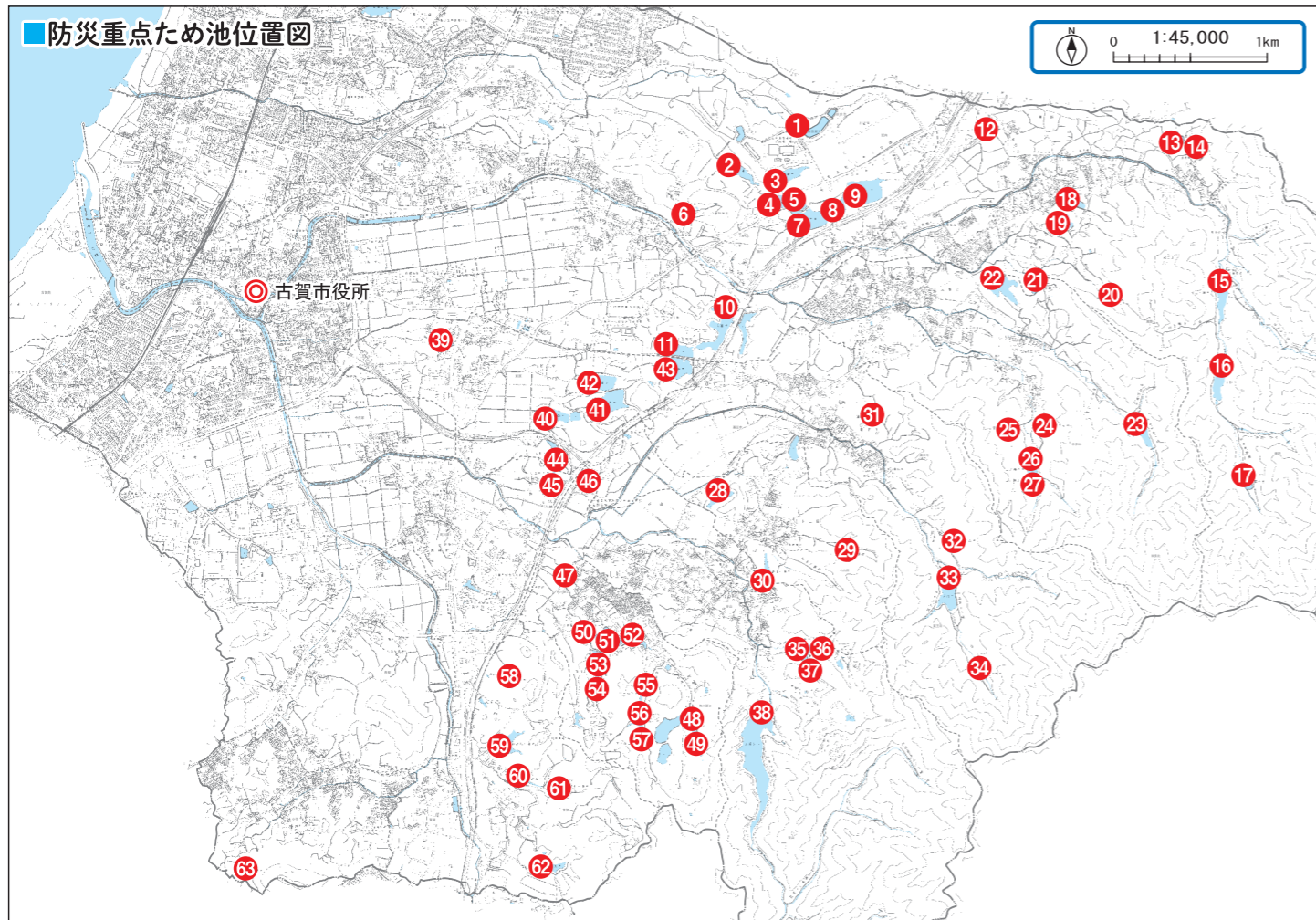
関連WEBサイト

古賀市 ため池ハザードマップ

防災重点ため池一覧

| 行政区 | ため池名称 | 貯水量(千m) | 行政区 | ため池名称 | 貯水量(千m) | 行政区 | ため池名称 | 貯水量(千m) |
|-----|---------|---------|-----|----------|---------|------|-----------|---------|
| 筵内 | 1 浦田新池 | 18.9 | 米多比 | 22 飛池 | 92.8 | 新原 | 43 五穀神池 | 44.9 |
| | 2 湯ノ裏池 | 40.0 | | 23 妙見池 | 51.7 | | 44 五毛上池 | 28.2 |
| | 3 湯釜池 | 81.8 | | 24 九郎次谷池 | 0.9 | | 45 五毛下池 | 2.1 |
| | 4 高柳池 | 19.9 | | 25 菅牟田池 | 0.1 | | 46 小山田池 | 7.6 |
| | 5 天神池 | 19.6 | | 26 山ノ神下池 | 90.0 | | 47 原池 | 2.2 |
| | 6 城ノ谷池 | 6.5 | | 27 山ノ神上池 | 5.9 | | 48 大浦下池 | 2.9 |
| | 7 峠下池 | 103.8 | | 28 井堀池 | 39.0 | | 49 大浦上池 | 7.6 |
| | 8 峠中池 | 20.2 | | 29 寺浦池 | 5.9 | | 50 道田池 | 13.7 |
| | 9 空池 | 62.1 | | 30 鍛冶ヶ浦池 | 18.1 | | 51 与八池 | 13.2 |
| | 10 丸尾池 | 139.6 | | 31 浦田池 | 2.2 | | 52 旧八幡池 | 9.2 |
| | 11 裏池 | 37.7 | | 32 下ノ谷池 | 9.1 | | 53 笹川下池 | 3.0 |
| 薦野 | 12 新堤池 | 10.0 | 薬王寺 | 33 河内池 | 127.1 | 町川原1 | 54 笹川上池 | 18.6 |
| | 13 北谷池 | 6.6 | | 34 上河内池 | 14.1 | | 55 牛ヶ谷下池 | 5.2 |
| | 14 泉池 | 0.5 | | 35 新谷別当池 | 32.4 | | 56 牛ヶ谷中池 | 23.3 |
| | 15 山ノ神池 | 76.2 | | 36 旧谷別当池 | 15.5 | | 57 牛ヶ谷上池 | 6.5 |
| | 16 小野池 | 63.1 | | 37 櫛谷池 | 3.0 | | 58 中尾池 | 2.0 |
| | 17 鍋谷池 | 20.4 | | 38 古賀ダム | 985.0 | | 59 新砥石ヶ浦池 | 45.4 |
| | 18 矢落池 | 18.7 | | 39 ウシロ池 | 10.0 | | 60 中砥石ヶ浦池 | 8.0 |
| | 19 糸江池 | 13.2 | | 40 四反田池 | 52.6 | | 61 上砥石ヶ浦池 | 17.5 |
| | 20 貝地池 | 2.8 | | 41 五毛池 | 102.8 | | 62 山見坂大池 | 29.8 |
| 米多比 | 21 釜蓋池 | 6.3 | 新原 | 42 馬達池 | 45.8 | 青柳 | 63 上鳥越池 | 2.7 |

防災重点ため池位置図



大規模盛土造成地マップ

大規模盛土造成地マップは、宅地造成前後の地形図等を重ね合わせることで抽出したおおむねの「位置」と「規模」を地図上に示しています。地図の精度により誤差を含んでいるため、個々の敷地を正確に特定するものではありません。

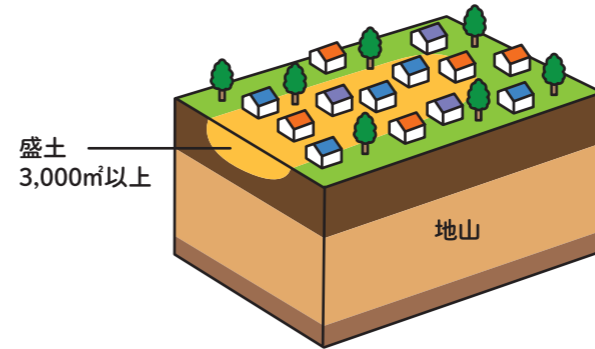
なお、マップに記載している大規模盛土造成地は、危険な箇所を示したものではありません。

大規模盛土造成地とは

盛土造成地のうち以下の条件に該当するものを「大規模盛土造成地」と呼びます。

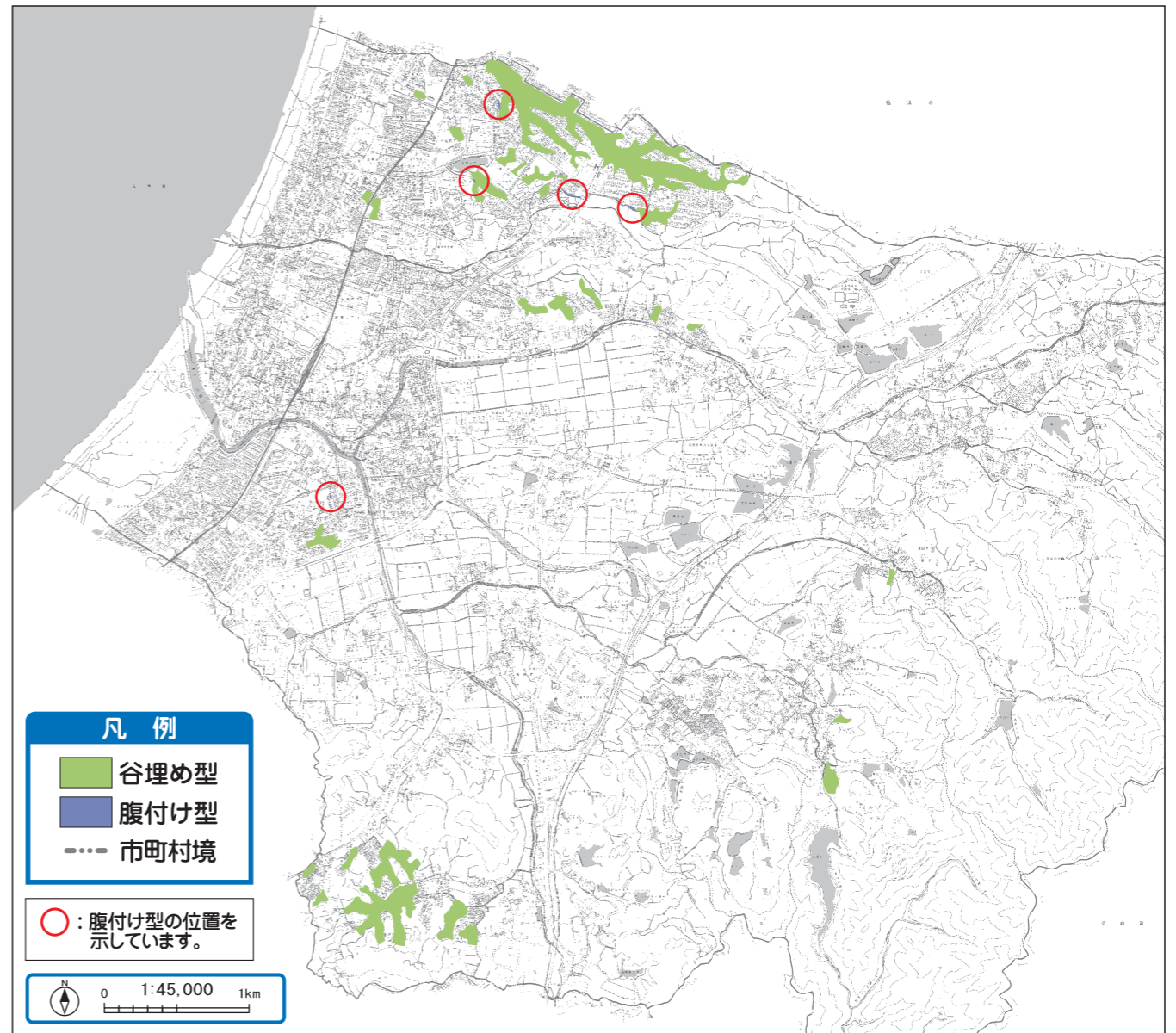
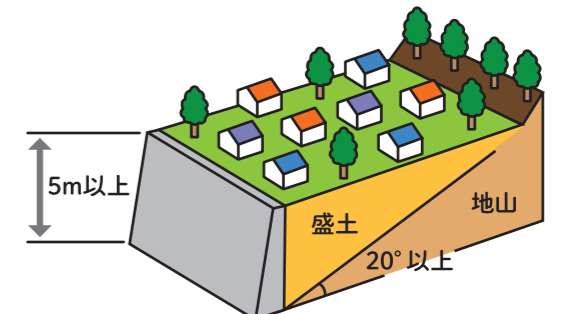
谷埋め型 大規模盛土造成地

盛土の面積が3,000㎡以上

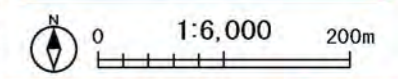
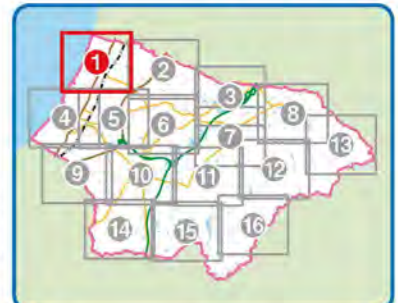


腹付け型 大規模盛土造成地

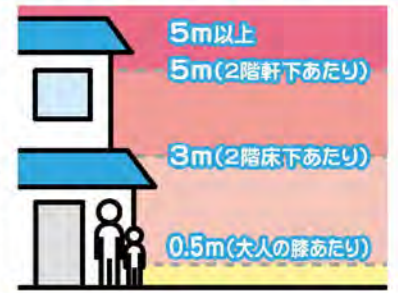
盛土する前の地盤面の水平面に対する角度が20度以上で、かつ、盛土の高さが5m以上



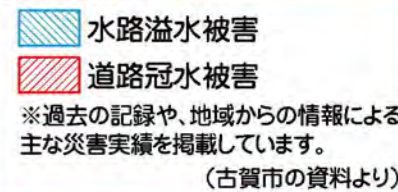
洪水・土砂災害
ハザードマップ ①



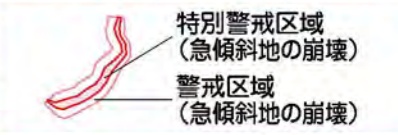
洪水浸水想定区域、氾濫推定範囲



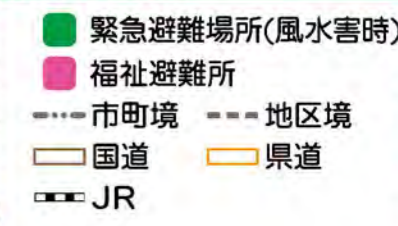
災害実績箇所



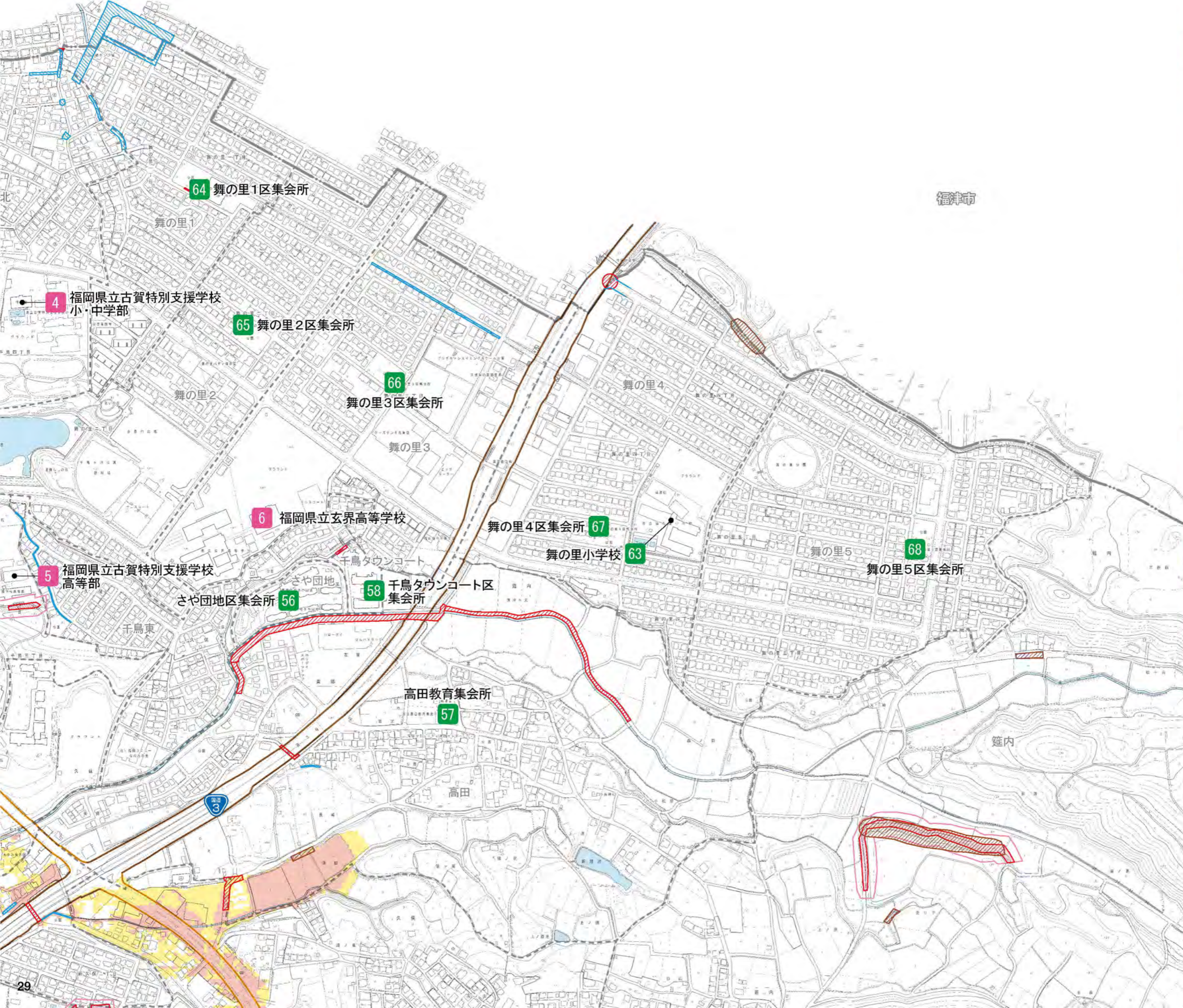
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



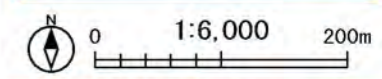
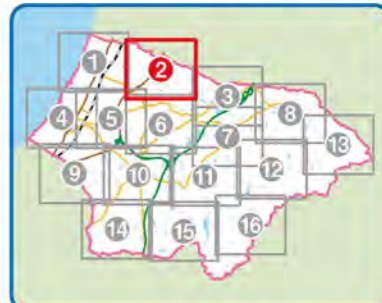
防災関連情報



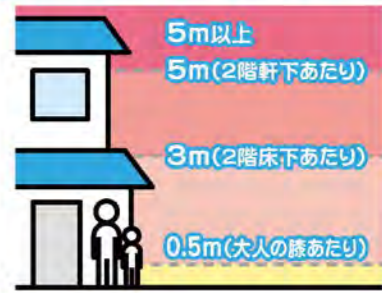
日頃の備え 避難について
洪水
土砂災害
高潮
津波
地震
ハザードマップ
ハザードマップ
洪水・土砂災害
ハザードマップ



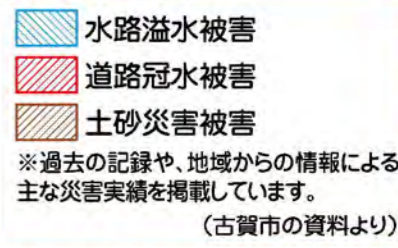
洪水・土砂災害
ハザードマップ ②



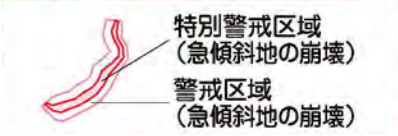
洪水浸水想定区域、氾濫推定範囲



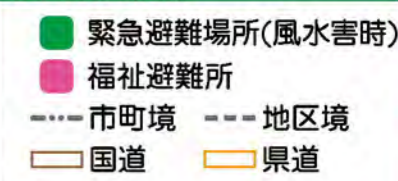
災害実績箇所



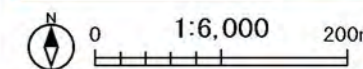
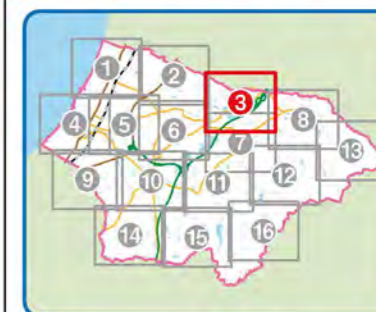
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



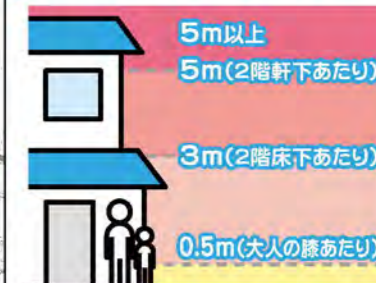
防災関連情報



洪水・土砂災害
ハザードマップ ③



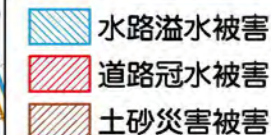
洪水浸水想定区域、氾濫推定範囲



家屋倒壊等氾濫想定区域

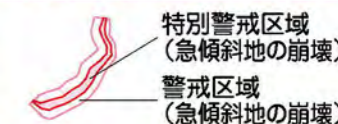


災害実績箇所

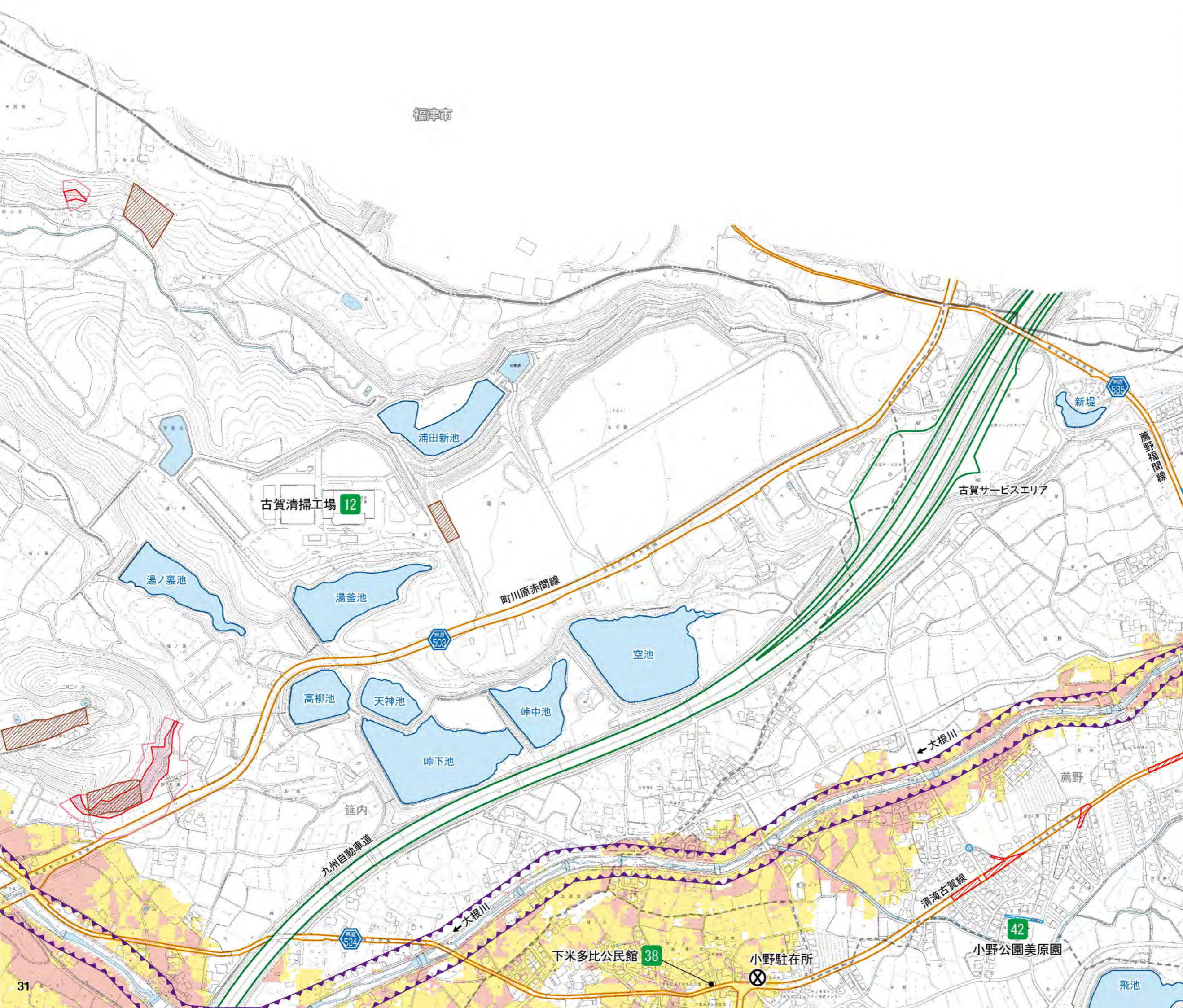
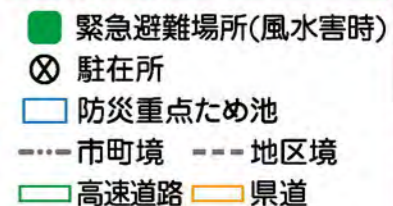


※過去の記録や、地域からの情報による
主な災害実績を掲載しています。
(古賀市の資料より)

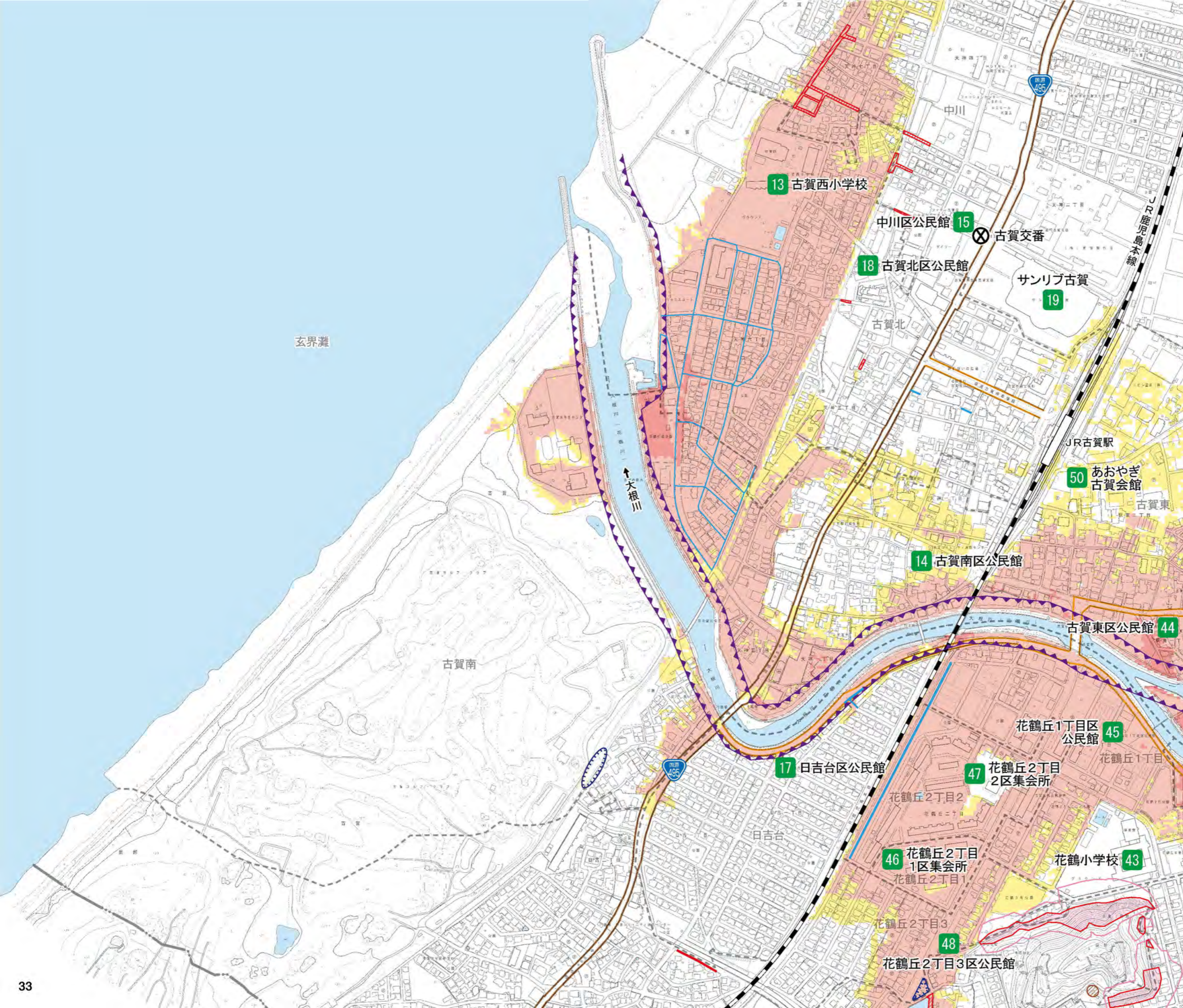
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



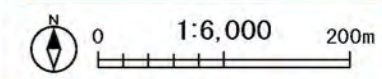
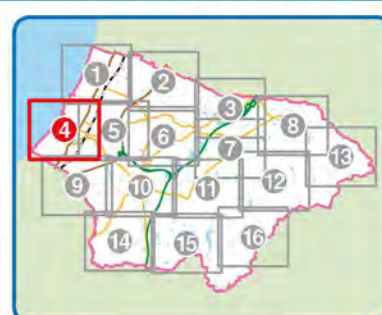
防災関連情報



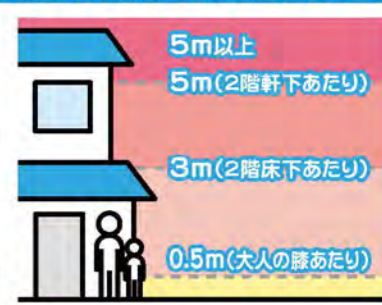
日頃の備え 避難について 洪水 土砂災害 高潮 津波 地震 ハザードマップ 洪水・土砂災害 ハザードマップ



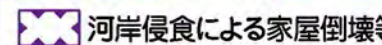
洪水・土砂災害
ハザードマップ ④



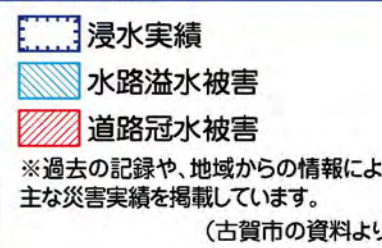
洪水浸水想定区域、氾濫推定範囲



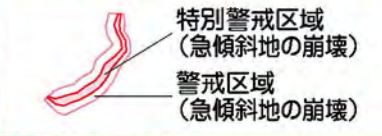
家屋倒壊等氾濫想定区域



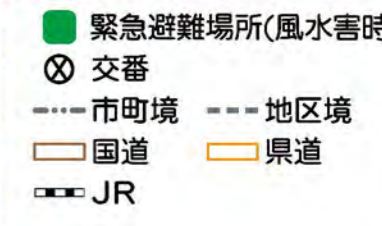
災害実績箇所



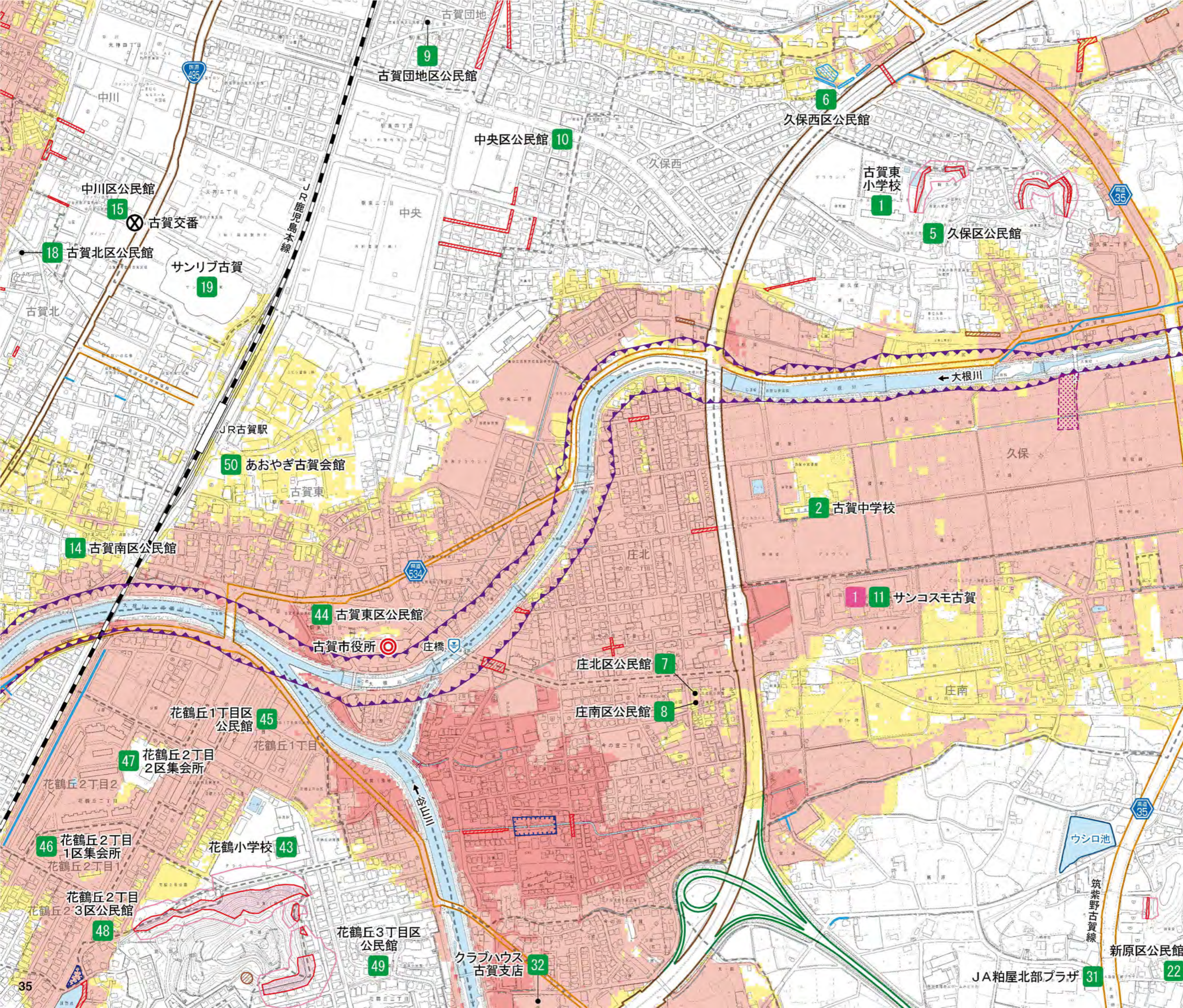
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



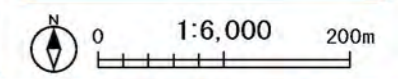
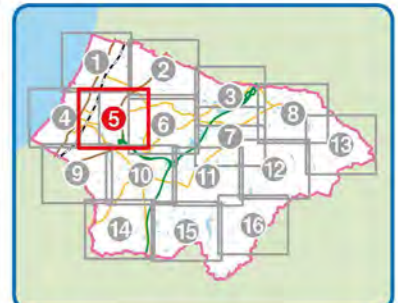
防災関連情報



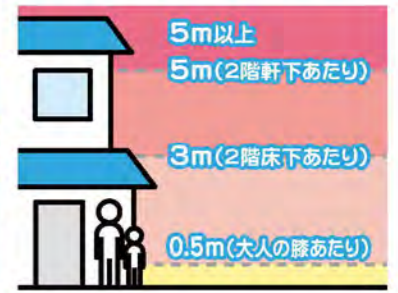
日頃の備え 避難について
洪水
土砂災害
高潮
津波
地震
ハザードマップ
洪水・土砂災害
ハザードマップ



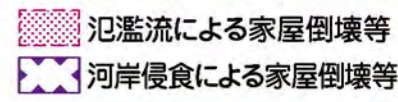
洪水・土砂災害
ハザードマップ ⑤



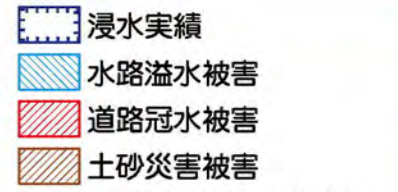
洪水浸水想定区域、氾濫推定範囲



家屋倒壊等氾濫想定区域

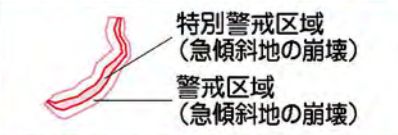


災害実績箇所



※過去の記録や、地域からの情報による
主な災害実績を掲載しています。
(古賀市の資料より)

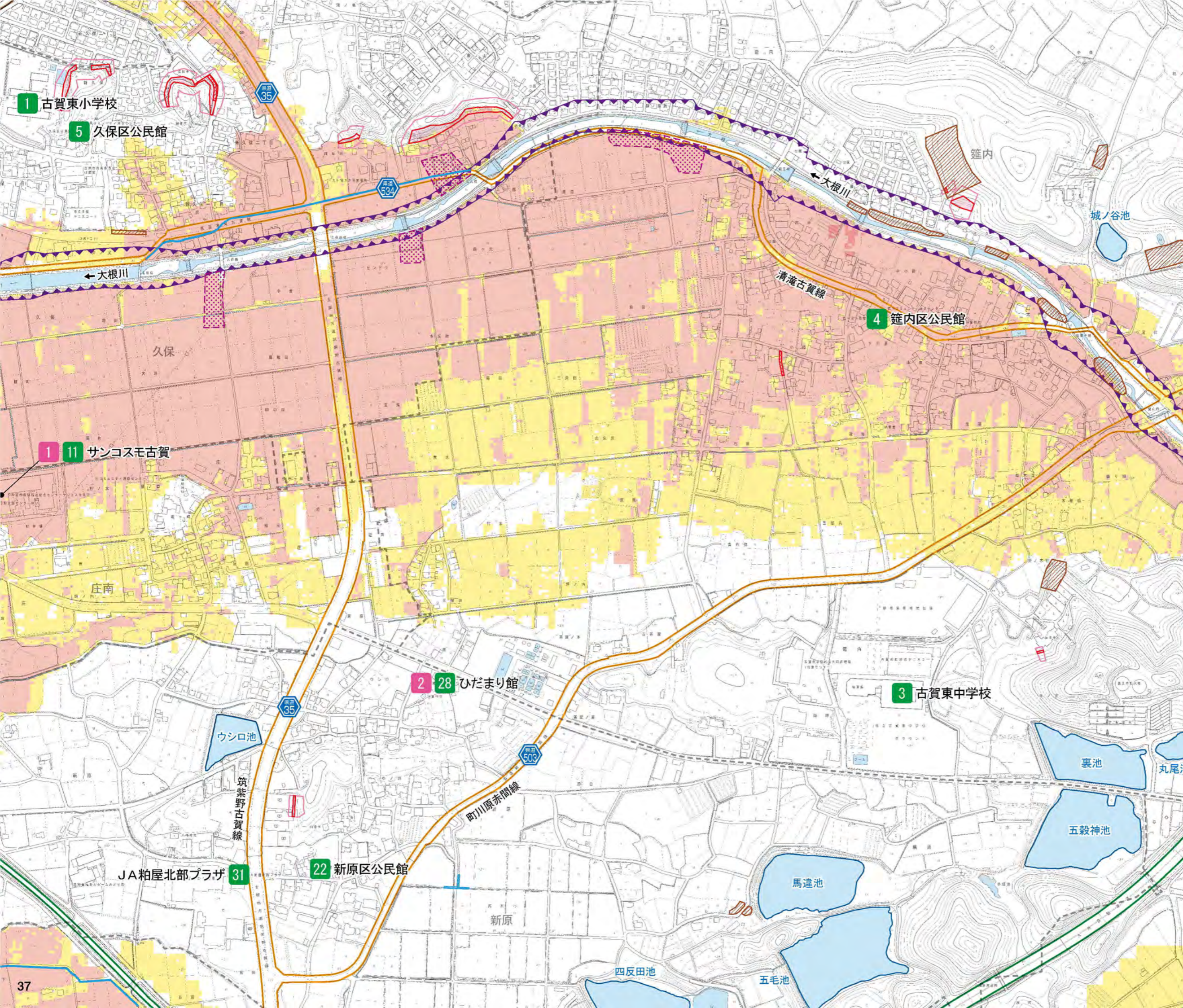
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



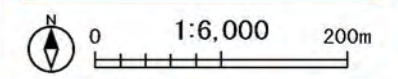
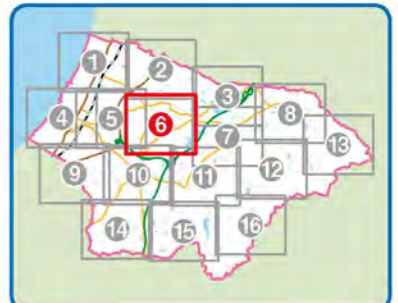
防災関連情報



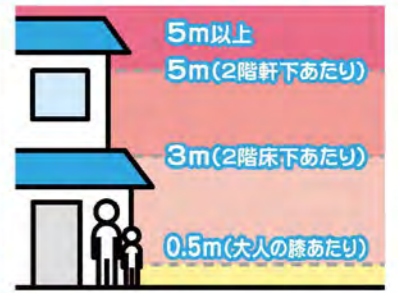
日頃の備え 避難について
洪水
土砂災害
高潮
津波
地震
ハザードマップ
洪水・土砂災害
ハザードマップ



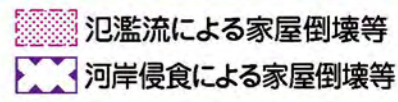
洪水・土砂災害
ハザードマップ ⑥



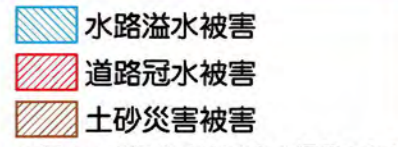
洪水浸水想定区域、氾濫推定範囲



家屋倒壊等氾濫想定区域

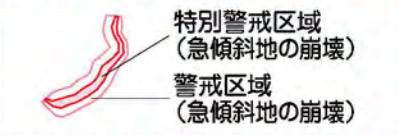


災害実績箇所



※過去の記録や、地域からの情報による
主な災害実績を掲載しています。
(古賀市の資料より)

土砂災害警戒区域・特別警戒区域



防災関連情報



日頃の備え 避難について 洪水 土砂災害 高潮 津波 地震 ハザードマップ 洪水・土砂災害 ハザードマップ

1 古賀東小学校
5 久保区公民館

4 筵内区公民館

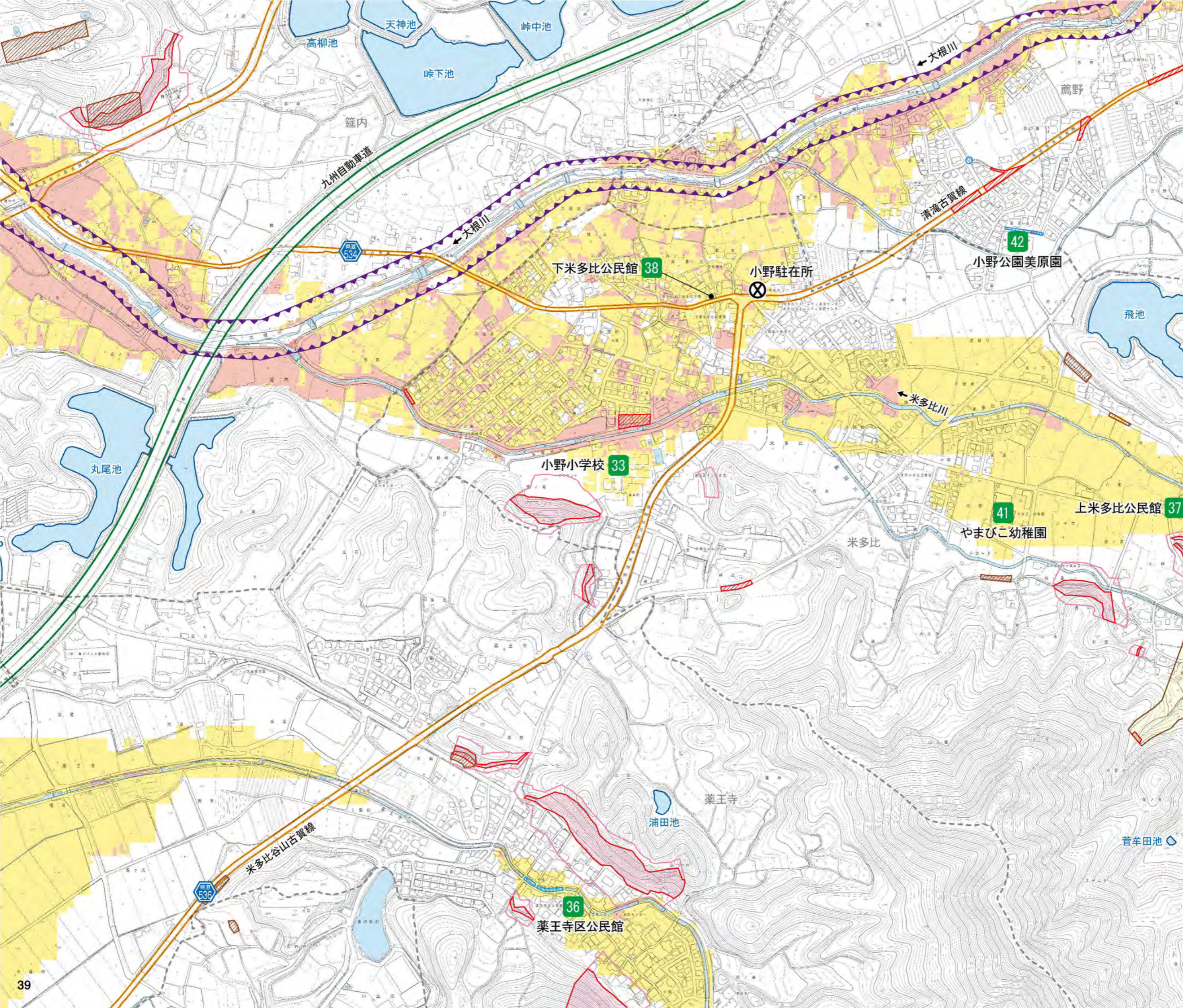
3 古賀東中学校

2 28 ひだまり館

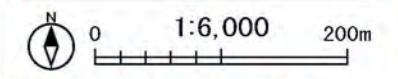
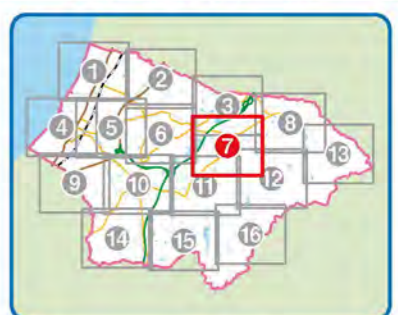
1 11 サンコスモ古賀

31 JA粕屋北部プラザ

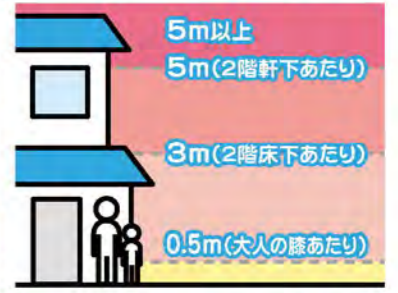
22 新原区公民館



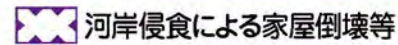
洪水・土砂災害
ハザードマップ ⑦



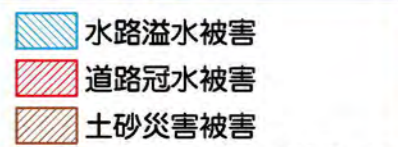
洪水浸水想定区域、氾濫推定範囲



家屋倒壊等氾濫想定区域

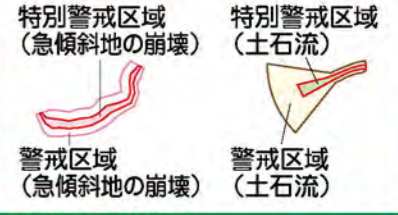


災害実績箇所

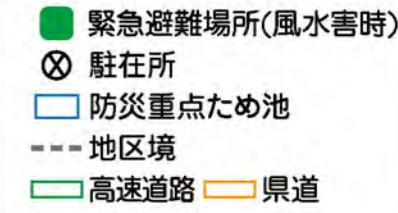


※過去の記録や、地域からの情報による
主な災害実績を掲載しています。
(古賀市の資料より)

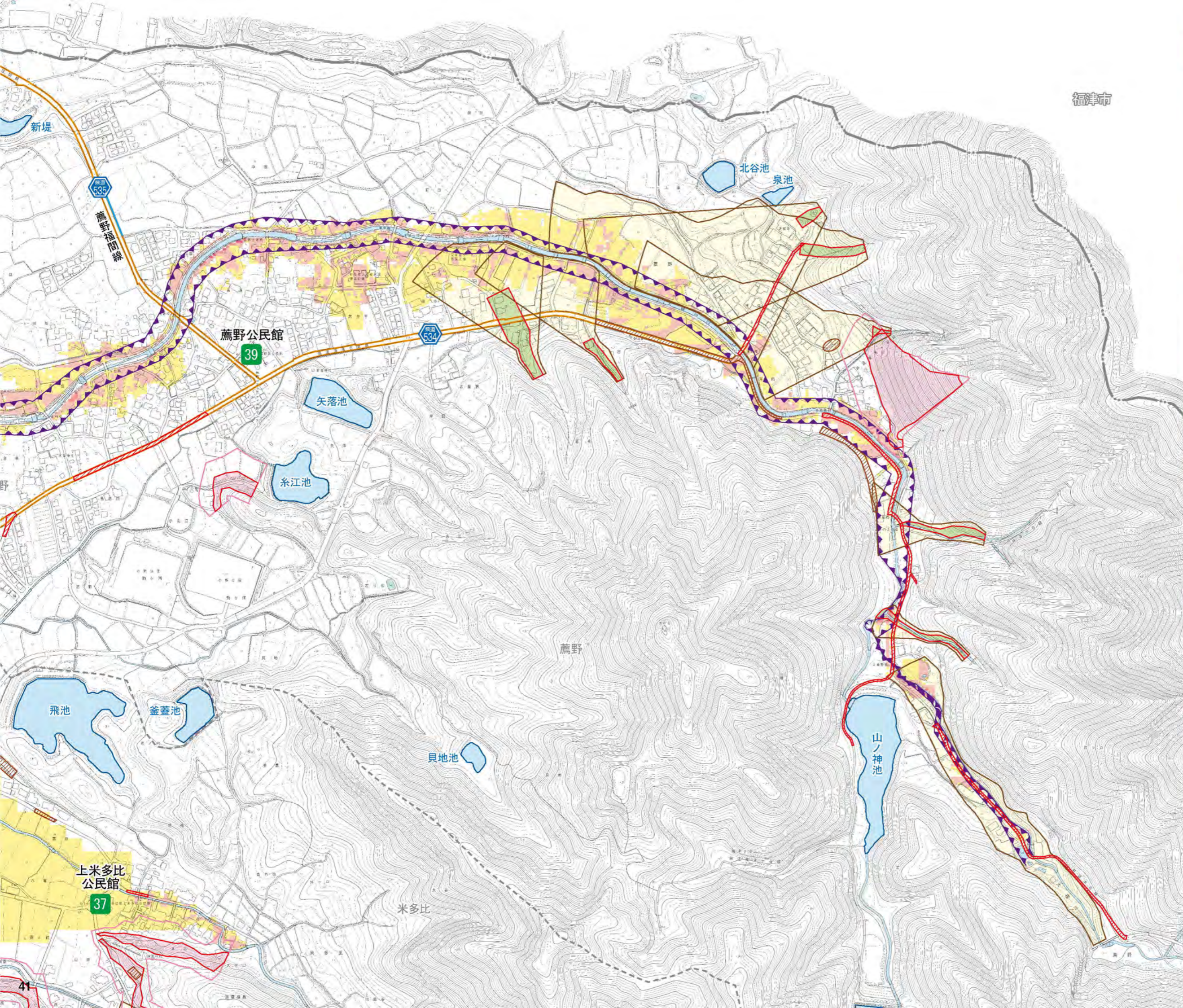
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



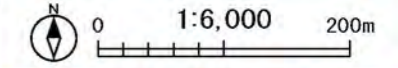
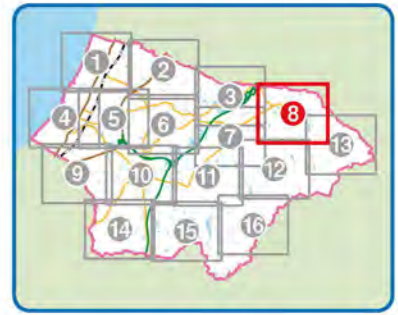
防災関連情報



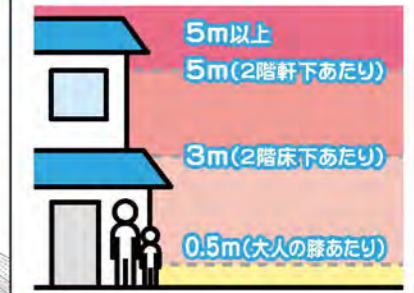
日頃の備え 避難について 洪水 土砂災害 高潮 津波 地震 ハザードマップ 洪水・土砂災害 ハザードマップ



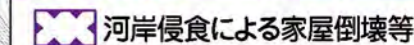
洪水・土砂災害
ハザードマップ 8



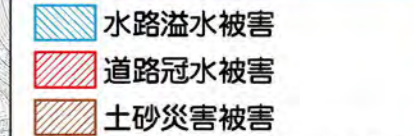
洪水浸水想定区域、氾濫推定範囲



家屋倒壊等氾濫想定区域

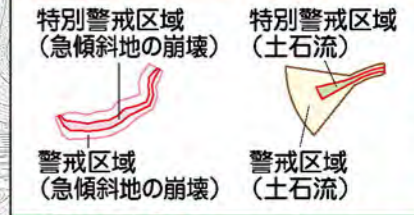


災害実績箇所

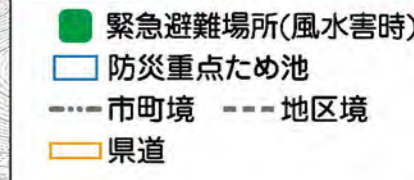


※過去の記録や、地域からの情報による
主な災害実績を掲載しています。
(古賀市の資料より)

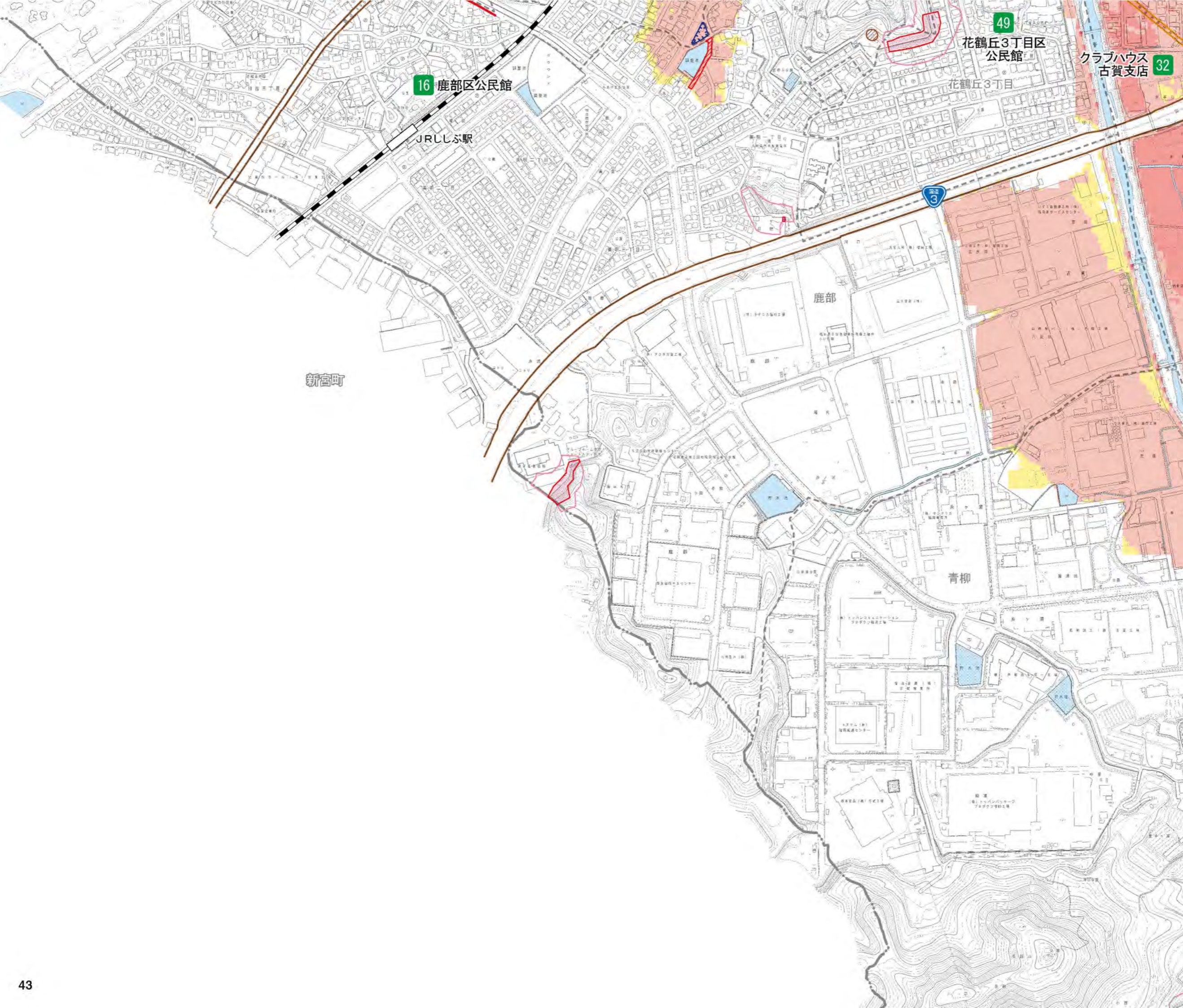
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



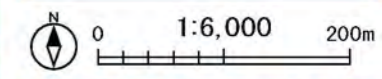
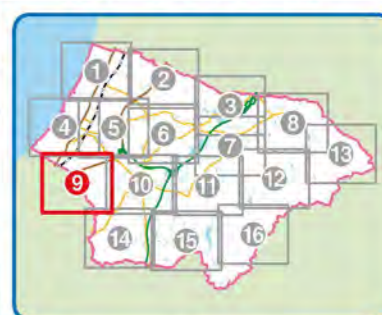
防災関連情報



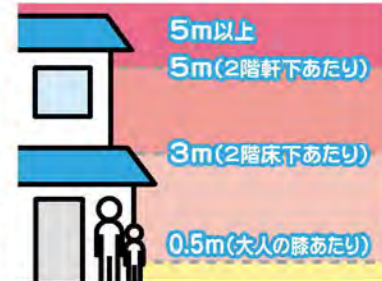
日頃の備え 避難について
洪水
土砂災害
高潮
津波
地震
ハザードマップ
洪水・土砂災害
ハザードマップ
高潮
津波
地震
ハザードマップ



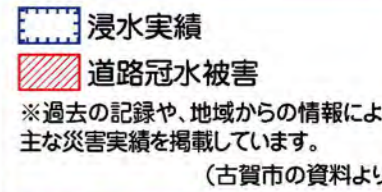
洪水・土砂災害
ハザードマップ ⑨



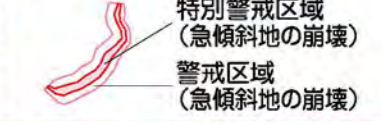
洪水浸水想定区域、氾濫推定範囲



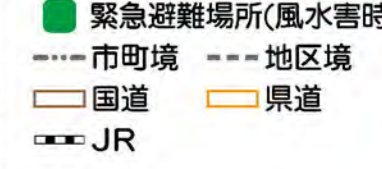
災害実績箇所



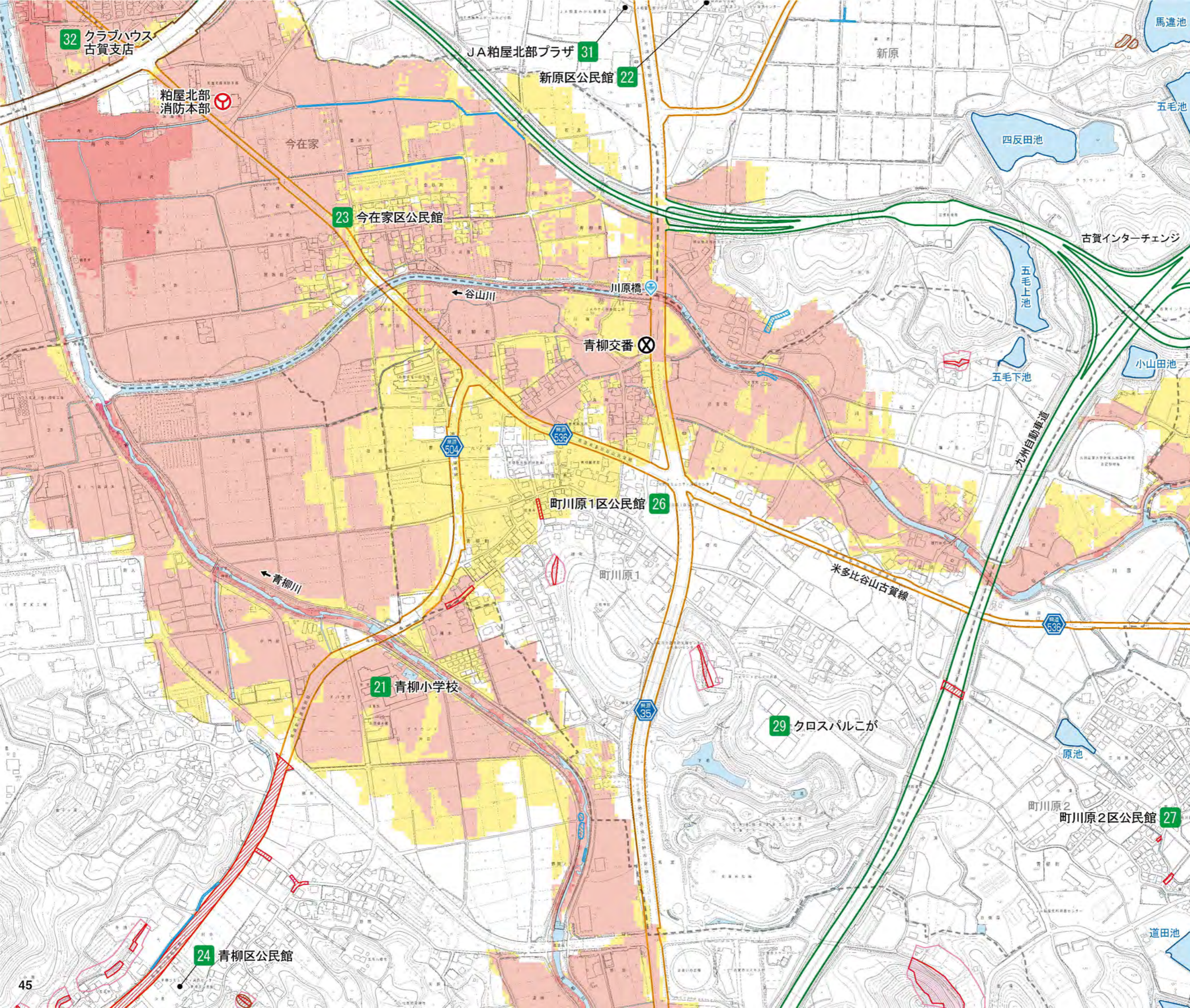
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



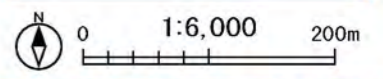
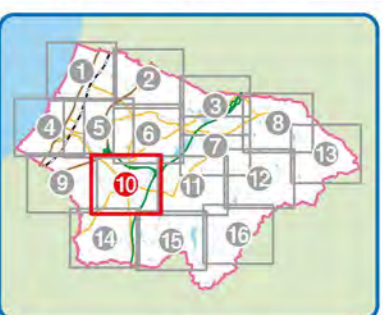
防災関連情報



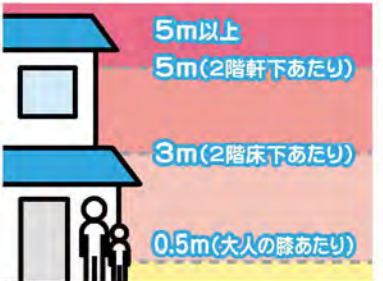
日頃の備え 避難について 洪水 土砂災害 高潮 津波 地震 ハザードマップ 洪水・土砂災害 ハザードマップ 高潮 津波 地震



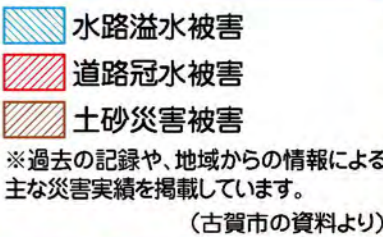
洪水・土砂災害
ハザードマップ 10



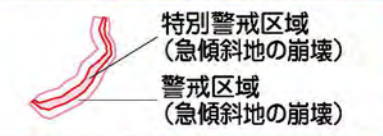
洪水浸水想定区域、氾濫推定範囲



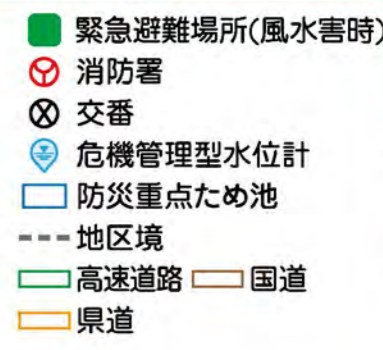
災害実績箇所



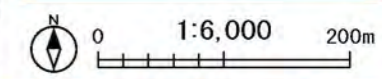
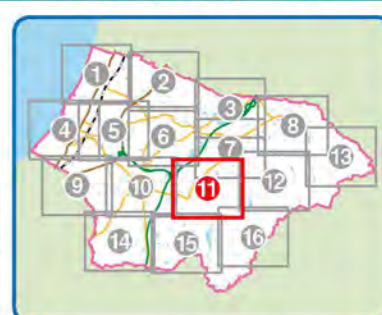
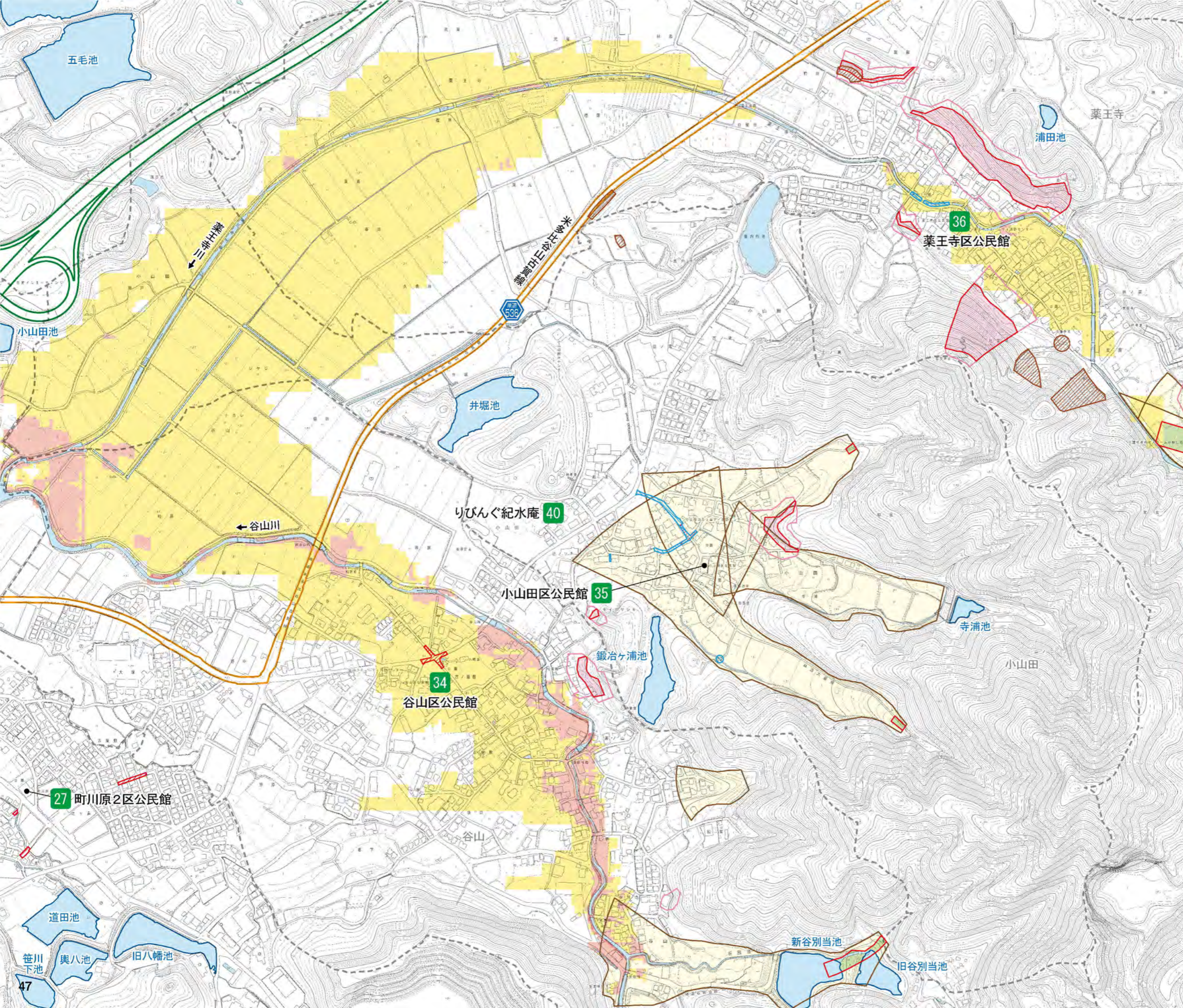
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



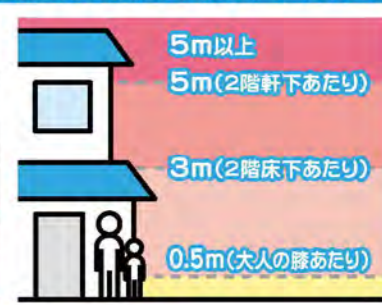
防災関連情報



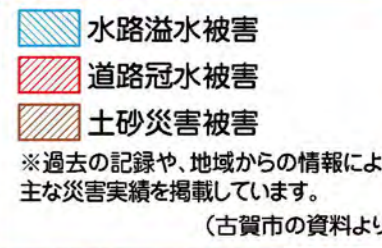
日頃の備え 避難について 洪水 土砂災害 高潮 津波 地震 ハザードマップ 洪水・土砂災害 ハザードマップ 高潮 津波 地震



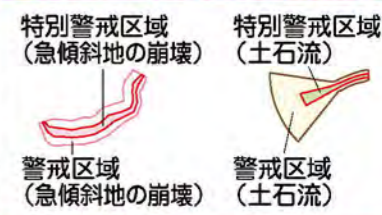
洪水浸水想定区域、氾濫推定範囲



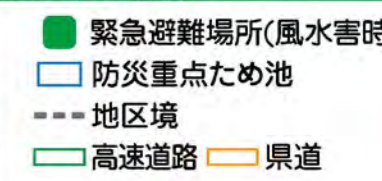
災害実績箇所



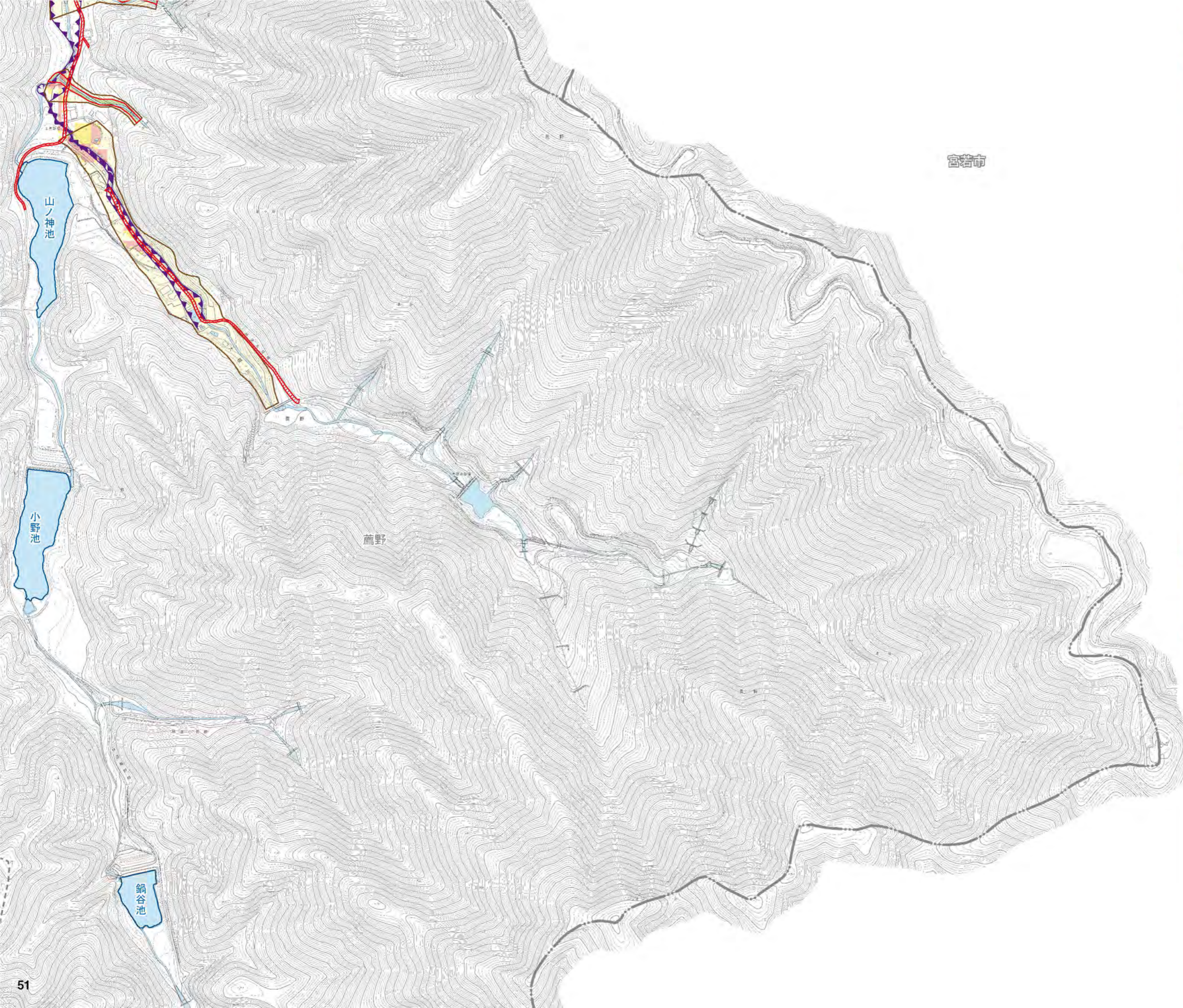
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



防災関連情報



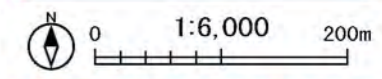
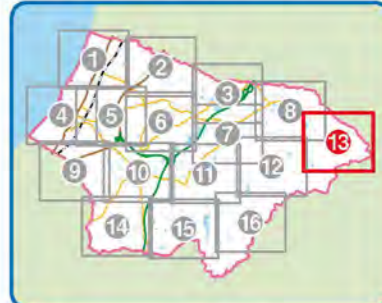
日頃の備え 避難について
洪水
土砂災害
高潮
津波
地震
ハザードマップ
洪水・土砂災害
ハザードマップ



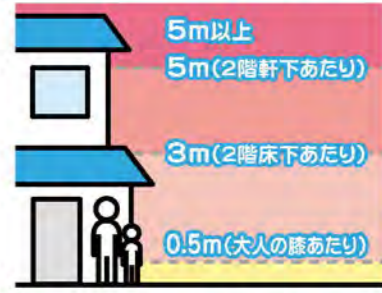
宮崎市

薦野

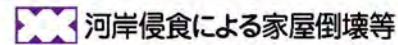
洪水・土砂災害
ハザードマップ 13



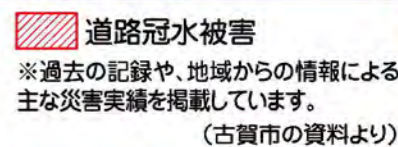
洪水浸水想定区域、氾濫推定範囲



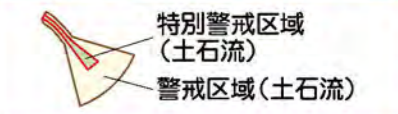
家屋倒壊等氾濫想定区域



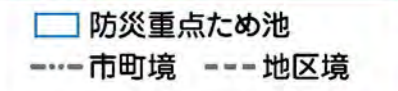
災害実績箇所



土砂災害警戒区域・特別警戒区域

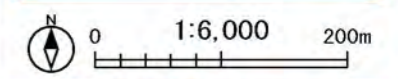
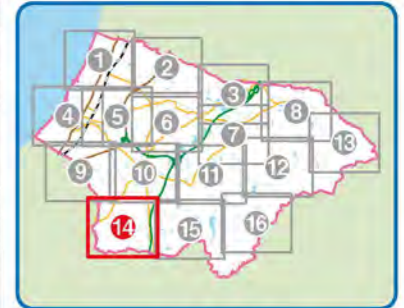


防災関連情報

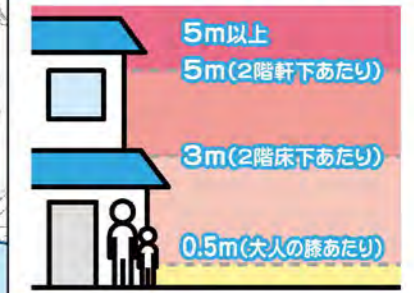


日頃の備え 避難について
洪水
土砂災害
高潮
津波
地震
ハザードマップ
洪水・土砂災害
ハザードマップ
高潮
津波
地震
ハザードマップ

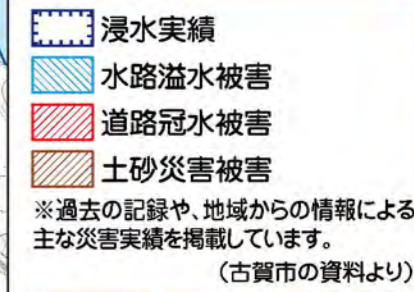
洪水・土砂災害
ハザードマップ 14



洪水浸水想定区域、氾濫推定範囲



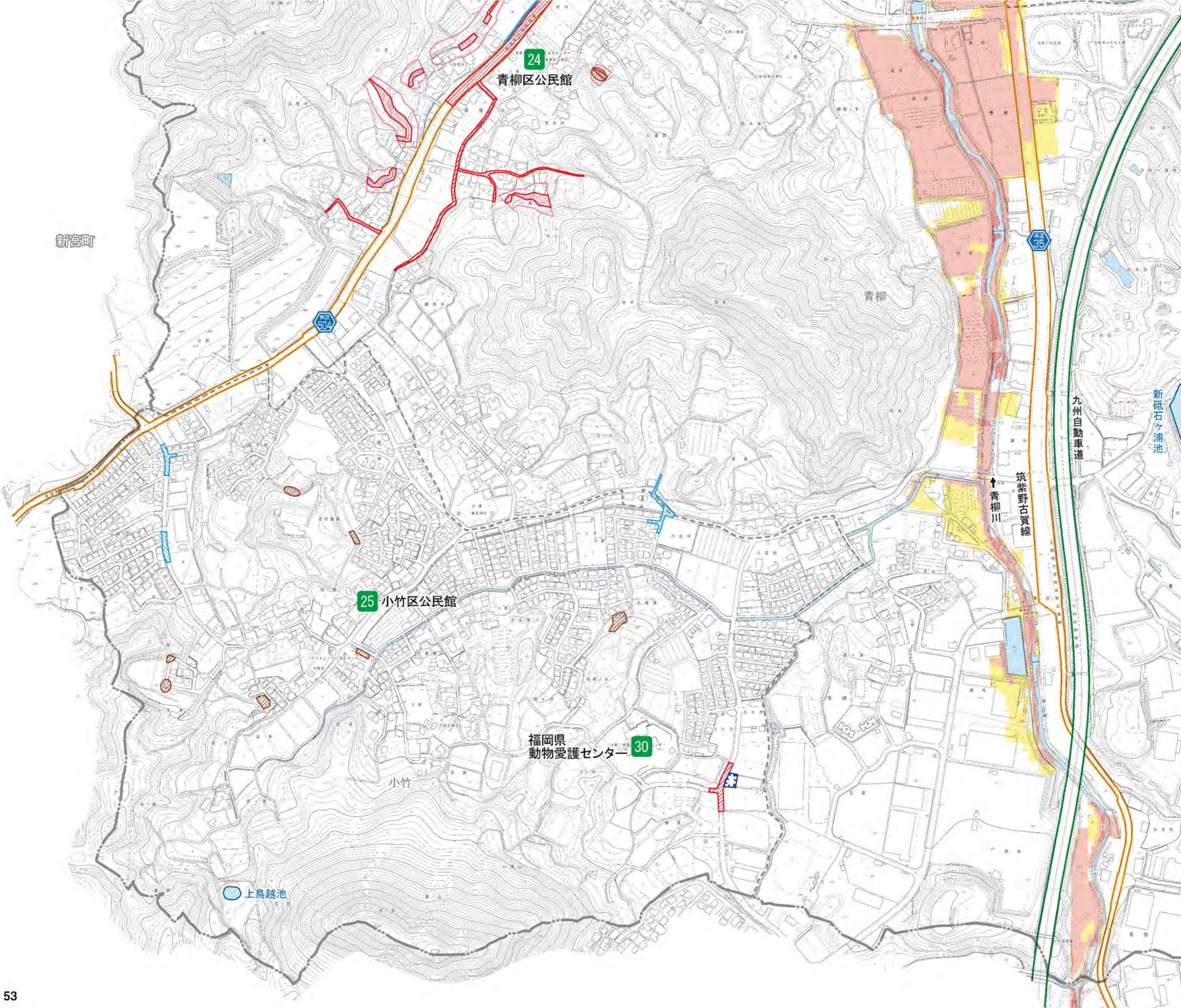
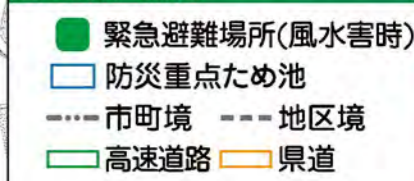
災害実績箇所



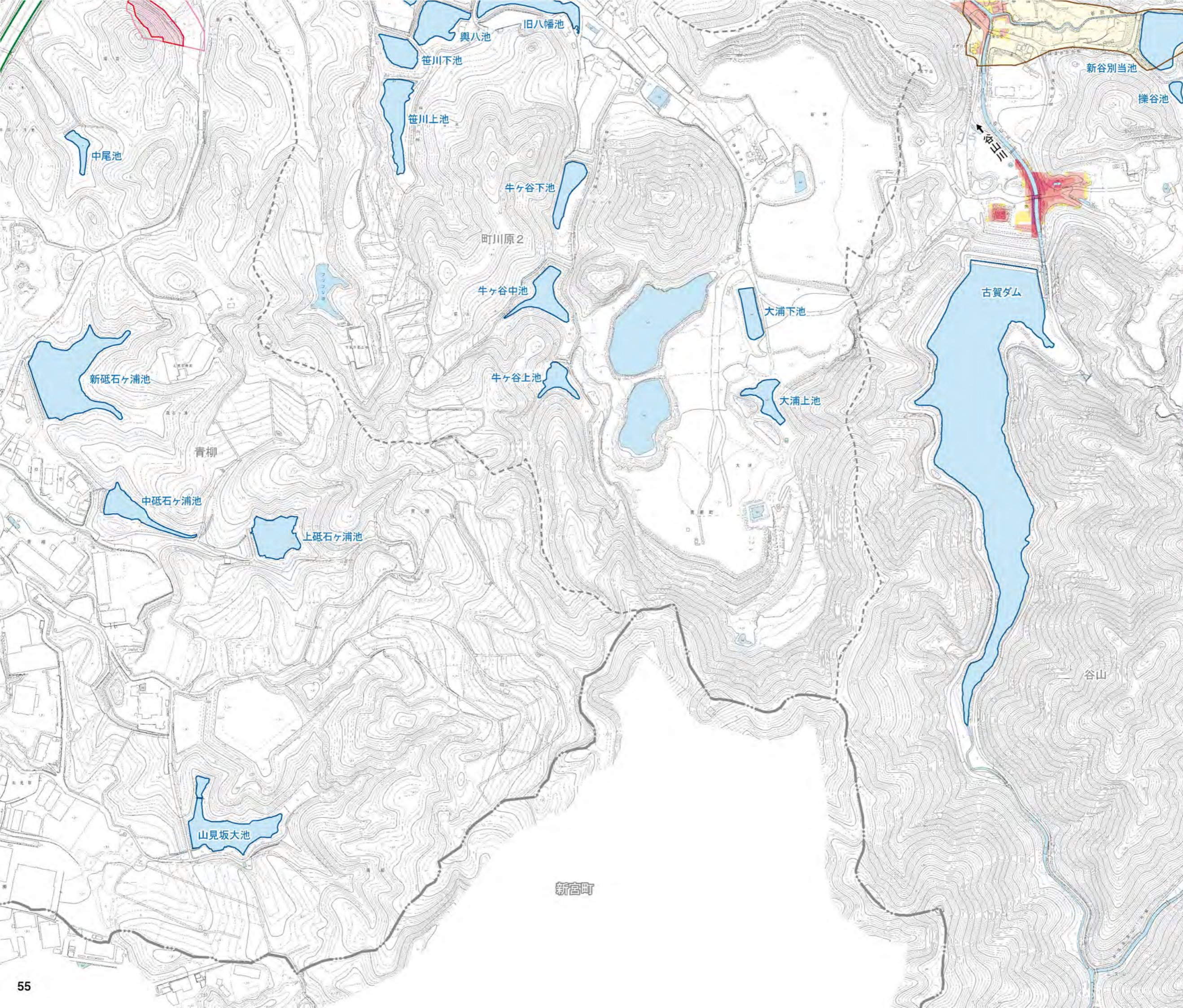
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



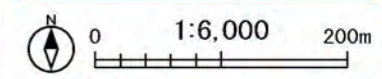
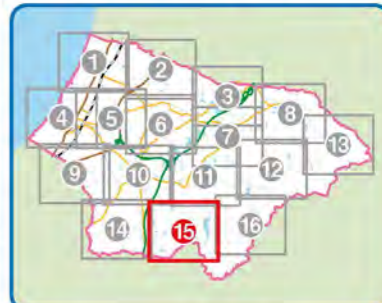
防災関連情報



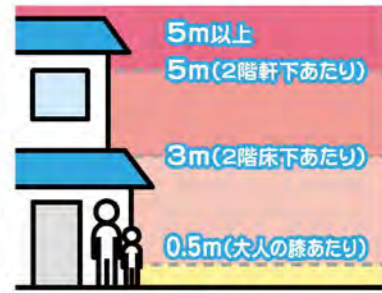
日頃の備え 避難について
洪水
土砂災害
高潮
津波
地震
ハザードマップ
洪水・土砂災害
ハザードマップ
高潮
津波
地震
ハザードマップ



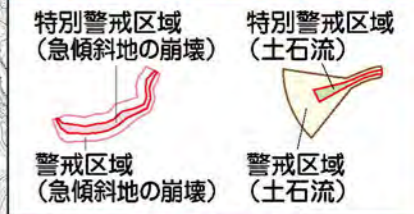
洪水・土砂災害
ハザードマップ 15



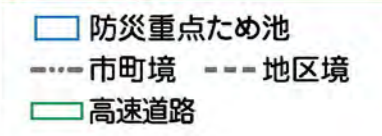
洪水浸水想定区域、氾濫推定範囲



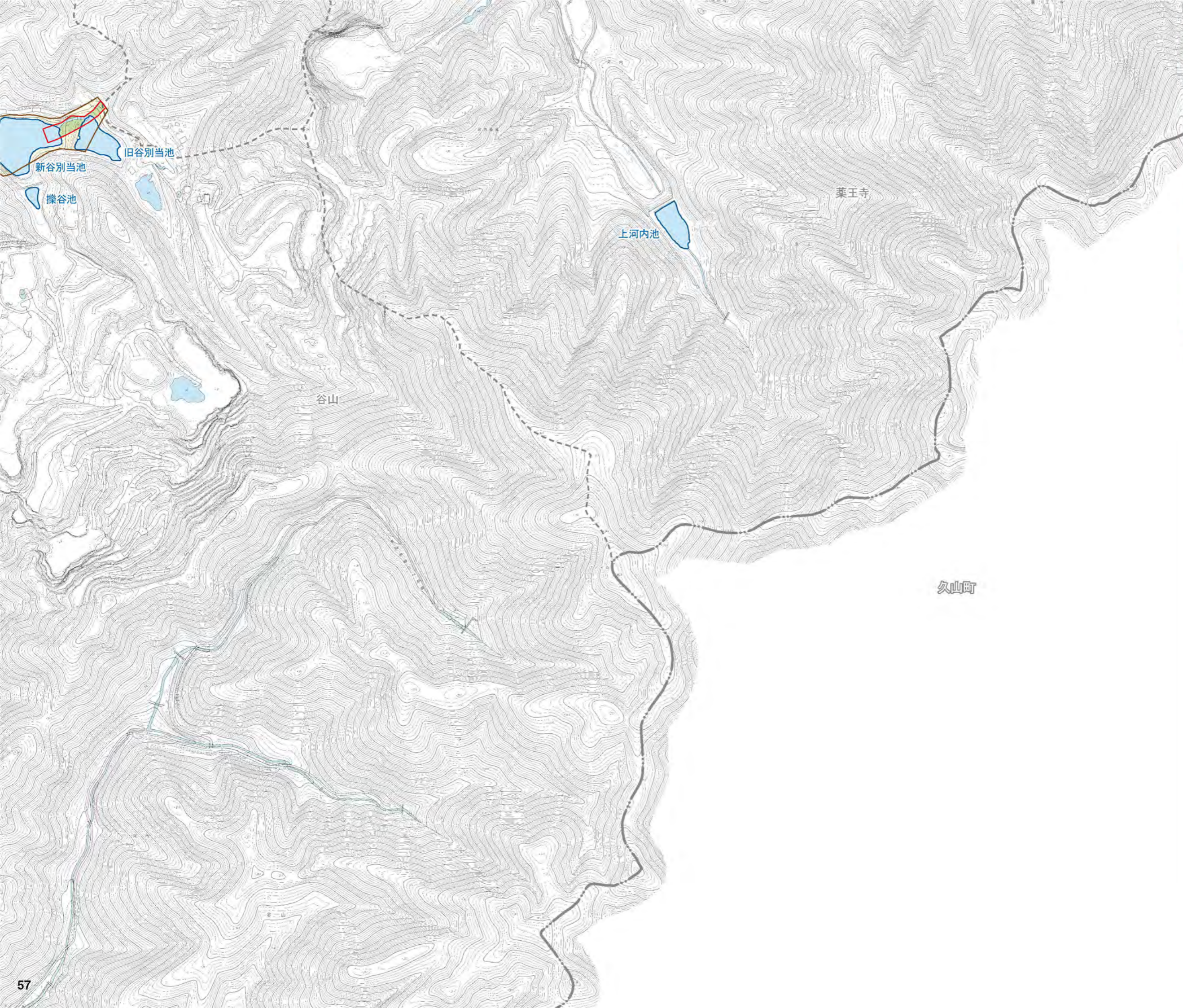
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



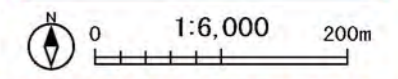
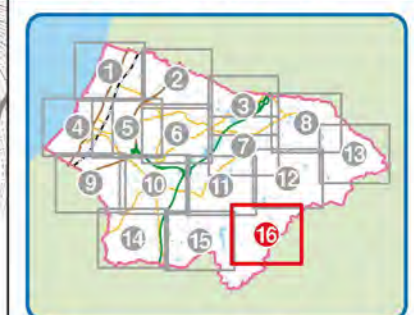
防災関連情報



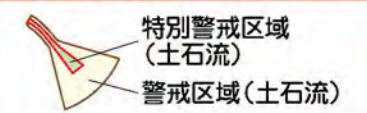
日頃の備え 避難について
洪水
土砂災害
高潮
津波
地震
ハザードマップ
洪水・土砂災害
ハザードマップ
高潮
津波
地震
ハザードマップ



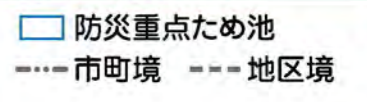
洪水・土砂災害
ハザードマップ 16



土砂災害警戒区域・特別警戒区域



防災関連情報



日頃の備え 避難について 洪水 土砂災害 高瀬 津波 地震 ハザードマップ 洪水・土砂災害 ハザードマップ 高瀬 津波 地震

高潮浸水想定区域（平成30年 福岡県作成）

- 中心気圧：室戸台風（1934年）を基本（最大900 hPa）
- 台風の半径：75 km（伊勢湾台風（1959年）を参考）
- 台風の移動速度：73 km/h（同上）
- 台風の経路：様々な台風経路による高潮偏差を確認した結果、高潮偏差が最大となる東進型の経路を採用
- 潮位：期望平均満潮位 1.29 T.P.m
- 構造物：護岸、堤防等は全て決壊

古賀市に対する高潮の影響

浸水面積
130
ha

最大高潮水位
5.9
T.P.m

※このマップに示した浸水域以外でも、浸水被害が発生する可能性があります。また、大雨による河川の氾濫や道路冠水などの複合災害の発生にも注意してください。

※T.P.：東京湾平均海面を表し、全国の標高の基準となる高さ。

凡例

高潮浸水想定区域



防災関連情報

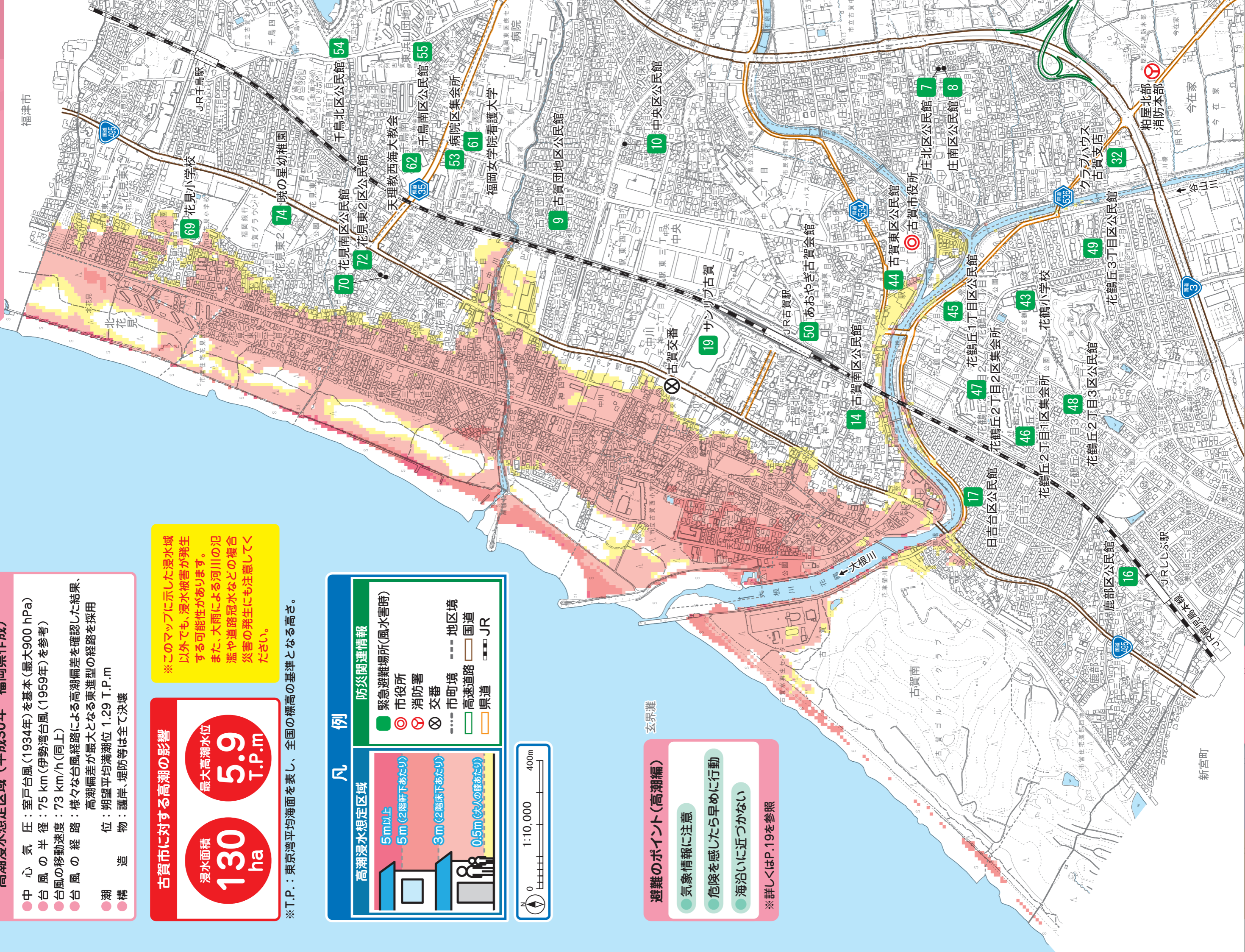
- 緊急避難場所(風水害時)
- ◎ 市役所
- ⊕ 消防署
- ⊗ 交番
- 市町境
- 地区境
- 高速道路
- 国道
- 県道
- JR



避難のポイント(高潮編)

- 気象情報に注意
- 危険を感じたら早めに行動
- 海沿いに近づかない

※詳しくはP.19を参照



津波災害警戒区域（平成30年 福岡県作成）

「津波災害警戒区域」は、津波が発生した場合に生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域で、津波被害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。津波浸水想定区域（平成28年 福岡県作成）をもとに設定されています。

- 想定津波：西山断層（M=7.6）による最大クラスの津波
- 潮位：朔望平均満潮位 1.16 T.P.m
- 構造物：地震及び液状化によりすべて破壊

古賀市に対する津波の影響（津波浸水想定区域より）

浸水面積
10 ha

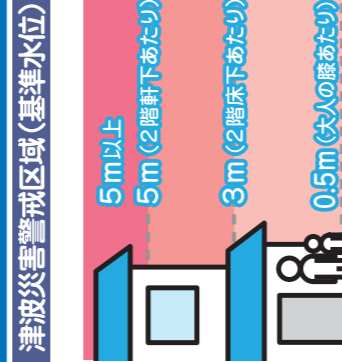
最高津波水位
2.6 T.P.m

最高津波到達時間
1分

※このマップに示した浸水域以外でも、津波による浸水被害や地震等による複合災害が発生する可能性があります。

※T.P.：東京湾平均海面を表し、全国の標高の基準となる高さ。

凡例



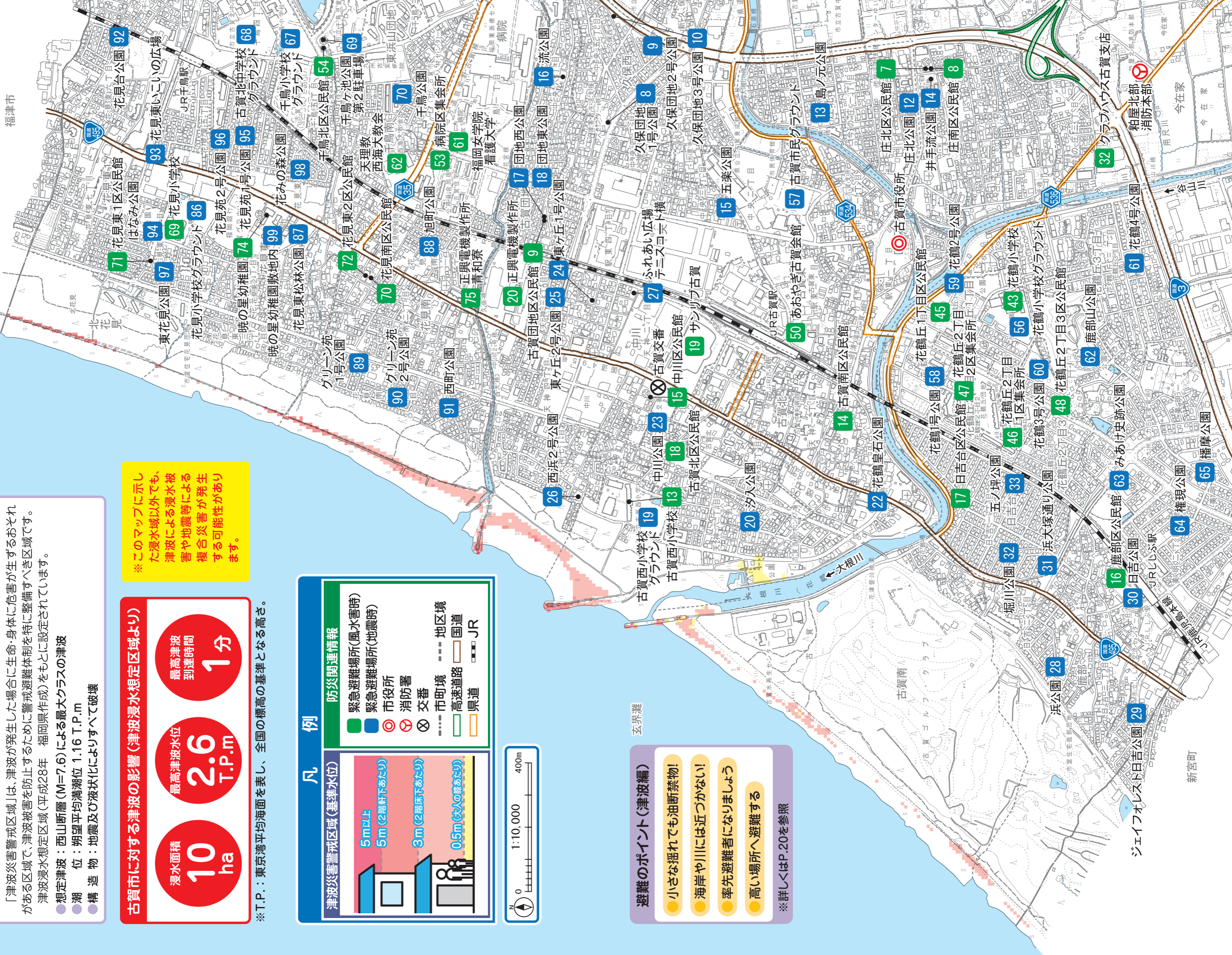
- 防災関連情報
- 緊急避難場所（風水害時）
 - 緊急避難場所（地震時）
 - 市役所
 - 消防署
 - 交番
 - 市町境
 - 地区境
 - 高速道路
 - 国道
 - 県道
 - JR



避難のポイント（津波編）

- 小さな揺れでも油断禁物！
- 海岸や川には近づかない！
- 率先避難者になりましょう
- 高い場所へ避難する

※詳しくはP.20を参照



日頃の備え 避難について

洪水

土砂災害

高潮

津波

地震

ハザードマップ

洪水・土砂災害

高潮

ハザードマップ

地震

地震ハザードマップ(揺れやすさマップ)

揺れやすさマップとは

揺れやすさマップは、古賀市に影響を与える地震が発生した場合に、どのくらいの震度が予想されるかを地図上に示したものです(平成25年 古賀市作成)。

このマップでは、古賀市周辺の主要活断層による3ケースの地震と直下型地震の計4ケースを想定し、それぞれの計算結果の最大値を表しています。

計算結果は、50m四方の「メッシュ」単位で示しています。

想定した地震の規模

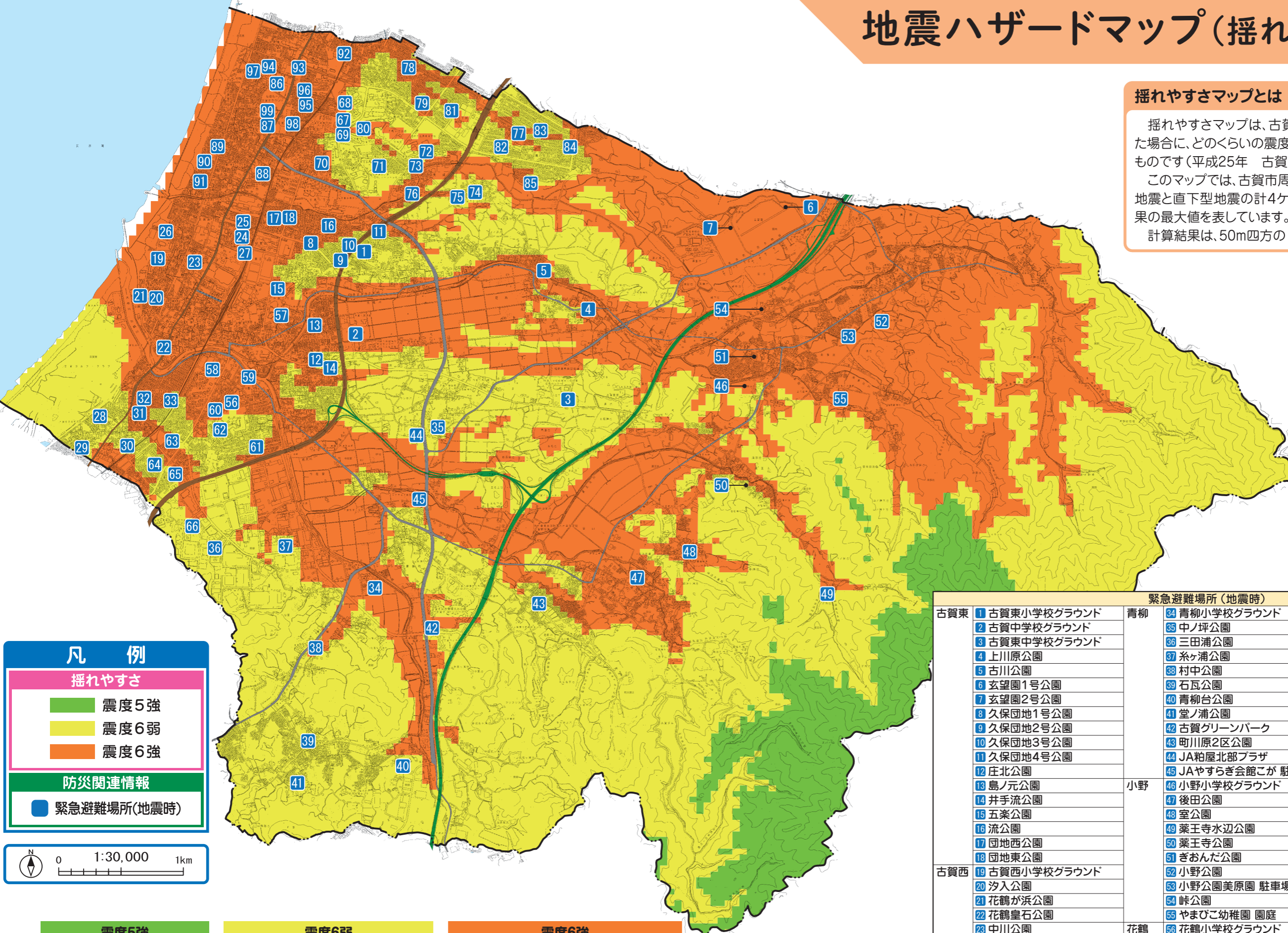
- ①西山断層(M=7.3)
- ②宇美断層(M=6.9)
- ③警固断層(M=7.2)
- ④直下型地震(M=6.9)

地震が発生したら

まずは自分の身を守る

- 机の下に入る。
- 家具やガラス面から離れる。
- クッションや雑誌などで頭を保護する。

※詳しくはP.22を参照



凡 例

揺れやすさ

- 震度5強
- 震度6弱
- 震度6強

防災関連情報

- 緊急避難場所(地震時)



- | | | |
|--|--|---|
| <div style="background-color: #90EE90; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">震度5強</div> <ul style="list-style-type: none"> ●物につかまらなさと歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本など、落ちるものが増える。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。 | <div style="background-color: #FFFF00; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">震度6弱</div> <ul style="list-style-type: none"> ●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、傾いたり、倒れたりすることがある。 | <div style="background-color: #FF8C00; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">震度6強</div> <ul style="list-style-type: none"> ●はわなないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定されていない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりやがけ崩れが発生することがある。 |
|--|--|---|

| 緊急避難場所(地震時) | | | | |
|-------------|---|---|--|---|
| 古賀東 | 1 古賀東小学校グラウンド 2 古賀中学校グラウンド 3 古賀東中学校グラウンド 4 上川原公園 5 古川公園 6 玄望園1号公園 7 玄望園2号公園 8 久保団地1号公園 9 久保団地2号公園 10 久保団地3号公園 11 久保団地4号公園 12 庄北公園 13 島ノ元公園 14 井手流公園 15 五楽公園 16 流公園 17 団地西公園 18 団地東公園 | 青柳 | 34 青柳小学校グラウンド 35 中ノ坪公園 36 三田浦公園 37 糸ヶ浦公園 38 村中公園 39 石瓦公園 40 青柳台公園 41 堂ノ浦公園 42 古賀グリーンパーク 43 町川原2区公園 44 JA粕屋北部プラザ 45 JAやすらぎ会館こが 駐車場 | |
| 古賀西 | 19 古賀西小学校グラウンド 20 汐入公園 21 花鶴が浜公園 22 花鶴皇石公園 23 中川公園 24 東ヶ丘1号公園 25 東ヶ丘2号公園 26 西浜2号公園 27 ふれあい広場テニスコート横 28 浜公園 29 ジェイフォレスト日吉公園 30 日吉公園 31 浜大塚通り公園 32 堀川公園 33 五ノ坪公園 | 小野 | 46 小野小学校グラウンド 47 後田公園 48 室公園 49 薬王寺水辺公園 50 薬王寺公園 51 ぎおんだ公園 52 小野公園 53 小野公園美原園 駐車場 | |
| | 花鶴 | 54 峠公園 55 やまびこ幼稚園 園庭 56 花鶴小学校グラウンド 57 古賀市民グラウンド 58 花鶴1号公園 59 花鶴2号公園 60 花鶴3号公園 61 花鶴4号公園 62 鹿部山公園 63 みあけ史跡公園 64 権現公園 65 播摩公園 66 小牧公園 | 千鳥 | 67 千鳥小学校グラウンド 68 古賀北中学校グラウンド 69 千鳥ヶ池公園第2駐車場 70 千鳥公園 71 弥生第1公園 72 弥生第2公園 73 弥生第3公園 74 高田公園 75 長崎公園 76 美郷公園 |
| | | | 舞の里 | 77 舞の里小学校グラウンド 78 牟田公園 79 北ヶ裏公園 80 千鳥ヶ池公園 81 天崎公園 82 佐谷公園 83 舞の里公園 84 黒薄公園 85 森の前公園 |
| | | | 花見 | 86 花見小学校グラウンド 87 花見東松林公園 88 旭町公園 89 グリーン苑1号公園 90 グリーン苑2号公園 91 西町公園 92 花見台公園 93 花見東いこいの広場 94 はなみ公園 95 花見苑1号公園 96 花見苑2号公園 97 東花見公園 98 花みの森公園 99 暁の星幼稚園 敷地内 |

地震ハザードマップ(危険度マップ)

危険度マップとは

危険度マップは、地震によって発生する建物被害の分布を地図上に示したものです。具体的には、「揺れやすさマップ」で示した強さの地震が発生した場合の、建物被害の程度(建物全壊率)を表しています。

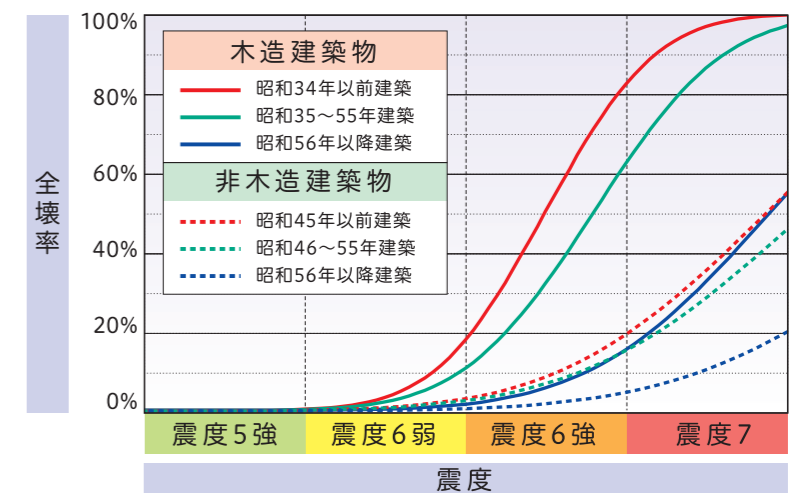
建物全壊率とは

約50mメッシュ単位の地域に建っている建物の中で何%の建物が全壊するかを示しています。建物全壊率の数値が大きいほど、被害が大きくなります。

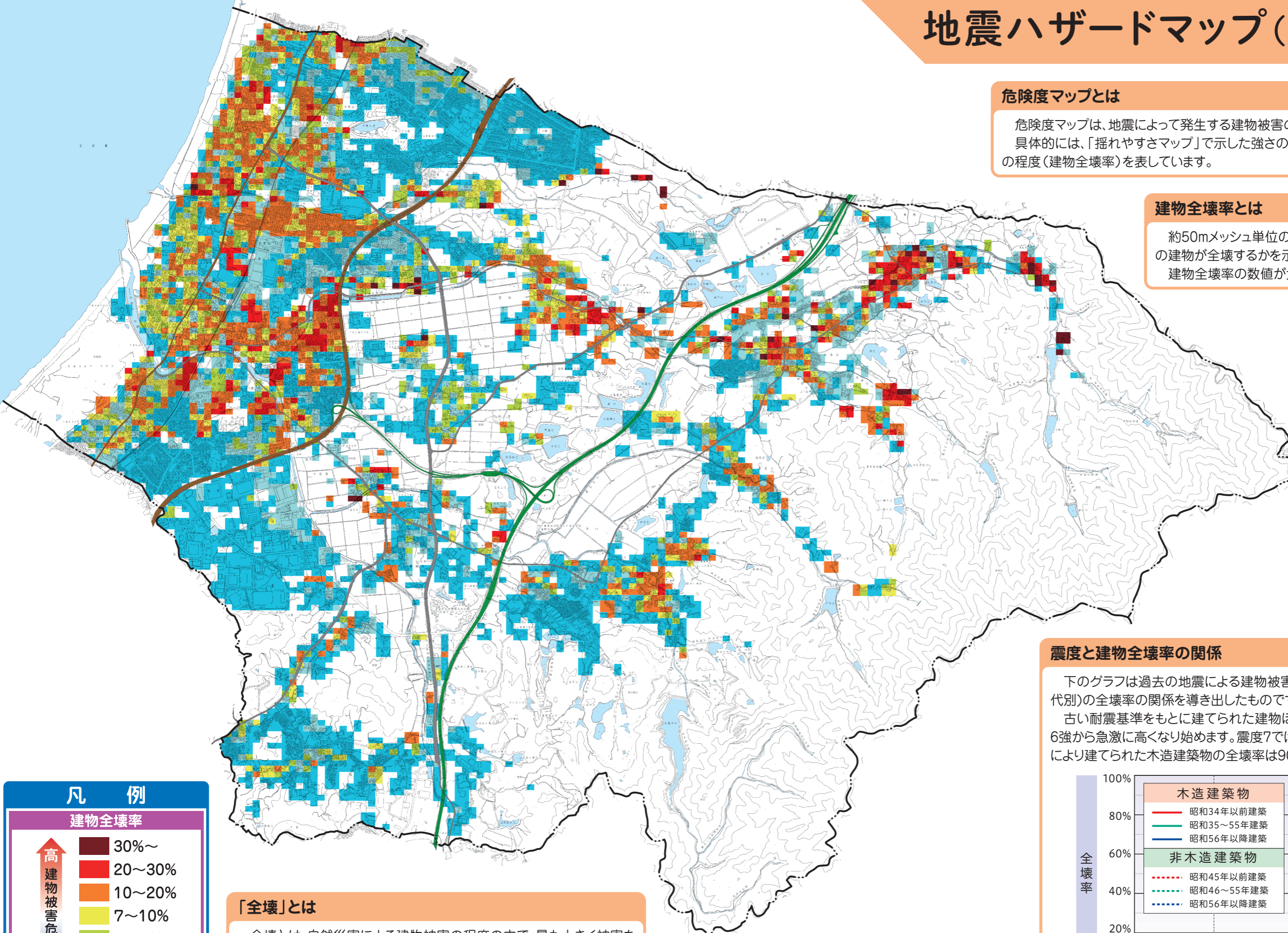
震度と建物全壊率の関係

下のグラフは過去の地震による建物被害の統計から、震度と建物(構造・年代別)の全壊率の関係を導き出したものです。

古い耐震基準をもとに建てられた建物ほど全壊率が高く、特に震度6弱～6強から急激に高くなり始めます。震度7では昭和56年5月以前の旧耐震基準により建てられた木造建築物の全壊率は90%以上になると想定されます。



※「地震防災マップ作成技術資料(内閣府/平成17年)」より作成
 ※このグラフは過去の地震による建物被害の統計値から算出されたものです。個々の建物の耐震性を建築年で一律に評価するものではありません。



凡例

建物全壊率

↑ 高建物被害危険度 ↓ 低

- 30%～
- 20～30%
- 10～20%
- 7～10%
- 5～7%
- 3～5%
- 0～3%

「全壊」とは

全壊とは、自然災害による建物被害の程度の中で、最も大きく被害を受けた状態であり、居住のための基本的な機能を失った状態を指します。

住宅の全体、もしくは一部の階が全て倒壊している。

外壁や柱の傾斜が1/20以上である。

